

本マニュアルでは、弊社製品(ACAD-DENKI、電キャビ、その他のオプション)で、共通の管理が必要な内容について説明しています。

また、各設定や操作関連のマニュアルも説明しています。

Alfatech

本マニュアルについて

本マニュアルは、弊社製品を使用するにあたっての運用準備と設定方法について説明するものです。

また、参照マニュアルについても説明しています。

本マニュアルの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。

ご注意

本マニュアルの内容を全部または一部を無断で記載することは禁止されています。

本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果についての影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。 製品名は各社の商標です。

_

1 章. はじめに	1
1-1. 管理者向けマニュアル	2
1-1-1 木マニュアルの日的	2
1-1-2 木マニュアルの治れ	2
	<u> </u>
1-2. 製品について	3
1-2-1 ACAD-DENKIシリーズ制品一覧	3
1-2-7 その他の制具一階	00 ۸
1-2-2. しの他の表明 見	بہ ج
1-2-3. 表面別参照マーエアル 見	
2 章. 管理ツール	7
2-1. ライセンス形式の設定	8
2-1-1 ライセンス形式の確認	Q
2-1.2 ライセンス形式の通知	0 o
2-1-2. ノービンヘルムの112 規	o
2-1-3. スタントプロノブイセンス	
2-1-4. フローティングライセンス	
2-2. 管理者ツール	12
2-2-1 管理者ツールの概要	12
2-2-2 登録するコーザについて	
2-2-2. 豆稣外的工 外について	10
2-2-5. 定方的の確認	
2-2-4、ユーザブルーブの推取	10
2-2-5. ユーリのグルーノガ頬(官理者・工廠オペレーダの豆球)	
2-2-0. 夫11 り能な機能の設と	
2-2-7. 官理石情報の書さ出し	
2-2-8. 官埋者の登録(更新)	
2-2-9. 管理者の登録(更新)エフーメッセージ	
2-2-10. ユーザの操作制限メッセージ例	
2-3. 場所の確認と一括変更	24
2-3-1 場所の確認と一括変更の確認	24
3 章. 設定項目(製品別)	25
3-1. ACAD-DENKI	26
3-1-1 設定項目の確認	26
3-1-2 ベースCADの変更の確認	
3-1-3 シュートカットメニューの設定の確認	
3-1-0. フェーアガンドアニューの設定の確認	
0	20 ⊃∩
5-1-5. 使用属住の設定	
3-2. 电イヤレ	
3-2-1. 設定項目の確認	35
3-2-2. マイデータベースの初期化の確認	
3-2-3. 階層設定の確認	
3-2-4. 接続設定の確認	

=

3-3. ACAD-Parts	40
3-3-1. 設定項目の確認	
3-3-2. 部品マスタ設定	
3-3-3. 環境設定の確認	
3-4. ACAD-Net	43
3-4-1. 設定項目の確認	
3-4-2. 環境設定	
4 章. ACAD-DENKI	
4-1. 図枠	46
4-1-1. 図枠について	
4-1-2. 図枠の保存先	
4-2. シンボル	47
イクイ シンボルの種類	17
4-2-1. シンボルの程規	۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰
4-2-3 シンボルパレットの表示について	48
4-2-4. シンボル庫の共有	
4-3. 線番の準備	
4-3-1 線番について	49
4-3-2. 線番の持つ情報(電線情報)	
4-3-3. 電線情報-設定	
4-3-4. 電線情報-編集	
4-3-5. 線番シンボルの編集・追加	
4-3-6. 電線情報表示画層の設定	
4-3-7. 線番シンボルの設定	
4-4. 渡り線処理実行の準備	56
4-4-1. 渡り線処理	
4-4-2. 渡り線アドレス表記	
4-4-3. 渡り線呼合情報位置	
4-5. 配線グループ情報の準備	59
4-5-1. グループ情報とは	
4-5-2. グループ情報を付加する設定	
4-6. 端子について	61
4-6-1. 別盤コマンドで自動発生する端子シンボル	
4-6-2. 端子シンボル配置	
4-7. リレー処理の準備	64
4-7-1. リレー処理方法	
4-7-2. リレー展開表作成	
4-7-3. リレー種別について	

=

4-8. 環境設定	71
4-8-1. 環境作成先の確認 4-8-2. システムシンボル関連の環境設定	
5 章. 電キャビ	79
5-1. 電キャビの運用について	
5-1-1. 運用前に	80
5-1-2. フォルダ階層と情報	
5-1-3. 電キャビツールバーの表示方法	
5-2. 目次作成	
5-2-1 月次作成の運用について	82
5-2-2 日次テンプレート作成	
5-2-2. 日次アジンジー TFR	86
5-3. 履歴編集の運用について	88
5-3-1. 履歴編集運用前の準備	
5-3-2. 履歴設定(物件単位管理)	
5-3-3. 履歴設定(ページ単位管理)	
5-3-4. 履歴欄作成	
5-3-5. 履歴項目の複数配置	
6 章. 補足	
6-1. ユーザ定義属性	
	00
6-1-1. ACAD-Parts Cの部品情報曲出例	
6-1-2. ACAD-Net Cの情報抽出例	
6-2. 複合部品の取扱いについて	
6-2-1 ACAD-Parts	110
6-2-2. ACAD-Net	
6-3. 設定項目のまとめ	
6-3-1. 初期設定項目の一覧	116

=

<<このページは白紙です。>>



本マニュアルの目的と流れについて説明します。

ACAD-DENKIの目的と運用手順書(マニュアル)についても説明します。

1-1. 管理者向けマニュアル

本マニュアルの目的と流れについて説明します。

1-1-1. 本マニュアルの目的

本マニュアルは以下の内容について説明しています。

- ・ACAD-DENKI シリーズを運用するために参照となるマニュアルについて
- ・運用方法/環境設定などで事前に決めていただく内容について

1-1-2. 本マニュアルの流れ

本マニュアルの流れとその内容を説明します。

<u>1 章.はじめに</u>	
■本章の内容	本マニュアルの目的と流れについて説明します。ACAD-DENKIの目的 と運用手順書(マニュアル)についても説明します。
\downarrow	
2 章.管理ツール	
■ <u>ライセンス形式の設定</u>	製品を使用される前に確認していただく内容について説明します。
■ <u>管理ツール</u>	
■場所の確認と一括変更	
\downarrow	
3章.設定項目(製品別)	
ACAD-DENKI	各製品の設定項目について説明します。
■ 電キャビ	ACAD-DENKI、電キャビ、その他オプションので運用前に行うことが望
■ <u>ACAD-Parts</u>	ましい設定です。
ACAD-Net	
↓	
<u>4章.ACAD-DENKI</u>	
■ <u>図枠</u>	ACAD-DENKIを運用するにあたり、必要となる設定を説明します。
■ <u>シンボル</u> 	・ACAD-DENKIの図枠(環境)・シンボル保存庫について
■その他の準備	・電気専用のコマンドを使用するにあたっての準備
<u>境境設定</u>	
5 草.電チャビ	
■電キャビの運用について	電キャビのパスの設定、目次作成・履歴設定を運用する前の準備につ
■ <u>目次作成</u>	いて説明します。
■履歴編集の運用について	
<u>6章.補足</u>	
■ <u>ユーザ定義属性</u>	ACAD-Parts/ACAD-Netで情報を抽出した場合の補足を説明しま
■ <u>複合部品の取扱いについて</u>	す。
■ <u>設定項目のまとめ</u>	

※本マニュアルの画面イメージはあくまでも一例です。

ユーザの環境により実際の画面とは異なる場合があります。

1-2. 製品について

ACAD-DENKI シリーズについて説明します。

1-2-1. ACAD-DENKI シリーズ製品一覧

製品名	説明	
主製品名		
ACAD-DENKI 32/64bit 版	制御回路設計アプリケーション	
電キャビく DENCABI> 32/64bit 版	図面管理アプリケーション ※ただし、現バージョンでは上記 ACAD 主製品が必須 (32/64bit 版については ACAD-DENKIと同じものになります)	
オプション製品(ACAD-DENKI(32	2/64bit版)と併せて使用)	
ACAD-Parts	部品マスタデータベースの登録・編集を行います。マスタデータベース情 報との照合をしながら部品表・発注書などの情報抽出・自動作図を行 います。	
オプション製品(ACAD-DENKI(32	2/64bit版)と併せて使用)	
ACAD-Net	ネットリスト(各種)を出力します。	
ACAD-EL0P	電子回路オプションです。電子回路図面を作図します。	
ACAD-I0	10 図面を作成します。	
ホットマーカーリンク(ACAD- HMLINK)	CTK 仕様のホットマーカー用データファイルを出力します。	
ACAD-WP	盤配線支援システム	
その他の製品		
データコンバータ(E)	ECAD のデータを ACAD-DENKI で管理できるようにコンバートします。	
図面 DENKI 化ツール	ACAD-DENKIの情報を持っていない図面を、部品情報処理や配線 支援で利用可能な図面データに半自動で変換するツールです。	
ACAD-DENKI 同梱ツール		
ACAD-DENKI 移行ツール	DENKI2000の運用環境を ACAD-DENKI に移行します。	
管理者ツール	ユーザーの作図・編集を制限する管理ツールです。	
DWG 形式変換	CAD を使用せずに図面の保存形式を変換するツールです。	
手直し奉行 (ACAD-DENKI 対応版)	AutoCAD/BricsCAD のコマンドを記述したテンプレートの内容を、複 数図面に対して実行するツールです。	

1-2-2. その他の製品一覧

製品名	説明
その他の製品	
朱書奉行	設計業務の効率化ツール 新旧図面(DWG、DXF ファイル)を比較し、(CAD が無くても)変更指示 図を自動作成するツールです。
検索奉行 EX	図面ドキュメントの検索をインデックスとして予めキャッシュすることで高 速検索を実現した効率化に役立つツールです。
手直し奉行 (単体版)	指定した複数図面に対し、テンプレートファイルの記述に基づいて一定 の処理を連続して実行するユーティリティツールです

1-2-3. 製品別参照マニュアル一覧

製品名	コマンドヘルプ・マニュアル(参照対象)※提供方法			
主製品				
ACAD-DENKI	■ACAD-DENKI コマンドヘルプ ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] ■ACAD-DENKI トレーニングマニュアル (設計者/オペレータ) ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供			
電キャビ	 ■電キャビヘルプ ※電キャビ起動 メニュー [ヘルプ]-[電キャビヘルプ] ■電キャビトレーニングマニュアル入門編/応用編 (設計者/オペレータ) ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供 ■データベース接続設定マニュアル(管理者) ※冊子提供 			
オプション製品(ACAD-DENKI &	≤併せて使用)			
ACAD-Parts	■コマンドヘルプ ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] 「コマンドヘルプ」-「ACAD-Parts」 ■ACAD-Parts マニュアル ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供			
オプション製品(ACAD-DENKI &	≤併せて使用)			
ACAD-Net	■コマンドヘルプ ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] 「コマンドヘルプ」-「ACAD-Net」			
電子回路オプション	 ■コマンドヘルプ ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] 「コマンドヘルプ」-「電子回路オプション」 ■電子回路オプショントレーニングマニュアル (設計者/オペレータ向け) ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供 			
ACAD-IO	■ACAD-10 マニュアル(設計者/オペレータ) ※冊子提供			
ホットマーカーリンク	■コマンドヘルプ ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] 「コマンドヘルプ」-「ACAD-Net」-「ホットマーカリンク」			
ACAD-WP	■盤配線支援システム布線処理モジュールチュートリアル※冊子提供 ■盤配線支援システム測長処理モジュールチュートリアル※冊子提供			

その他の製品	
コンバータ(E)(ACAD-E2A)	■データコンバータ(E)マニュアル(設計者/オペレータ) ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供
図面 DENKI 化ツール	■図面 DENKI 化ツールマニュアル(設計者/オペレータ) ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供
ACAD-DENKI 同梱ツール	
ACAD-DENKI 移行ツール (ACAD-D2A)	■環境移行マニュアル ※冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供
管理者ツール(ACAD- ADMIN)	■管理者向けマニュアル(管理者向け) ※本マニュアル冊子提供/メディア内 DOC フォルダに PDF 提供
DWG 形式変換	■コマンドヘルプ ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] 「ユーティリティ」-「DWG 形式変換」
手直し奉行 (ACAD-DENKI 対応版)	■コマンドヘルプ ※手直し奉行 起動 メニュー[ヘルプ] ※ACAD-DENKI 起動 メニュー [?]-[コマンドヘルプ] 「ユーティリティ」-「手直し奉行」

各マニュアル(本マニュアル含む)の画面ダンプはあくまで一例です。

実際の画面と違う場合があります。



製品を使用される前に確認していただく内容について説明します。

(ライセンスの形式・使用権限の設定・環境/シンボル/ドキュメントの設定場所・設定方法など)

2-1. ライセンス形式の設定

弊社製品は、各製品の操作時にライセンスを取得して動作します。 ライセンス取得の設定を説明します。

2-1-1. ライセンス形式の確認

ライセンスの設定は、「ライセンス形式の設定」で行います。 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンス形式の設定]を表示します。 Windows8 の場合は、アルファテックランチャーにある「管理ツール」を実行してください。 Windows10 の場合は、スタートメニューから「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-[アルファテックランチャー]から実 行してください。



2-1-2. ライセンス形式の種類

ライセンスの形式には2種類あります。

■スタンドアロン(2-1-3.スタンドアロンライセンス 参照)
 ->端末1台につき、ライセンスを1つずつアクティベートして使用する形式です。
 ■フローティング(2-1-4.フローティングライセンス 参照)
 ->代表端末1台にライセンスファイルを1つ使用し、他端末と共有する形式です。

2-1-3. スタンドアロンライセンス

【確認方法】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管	🏧 ライセンス アクティベーション			
理ツール]-[ライセンス形式の設定]を選択します。	「体験版			
2. ライセンスアクティベーションダイアログが表示されます。	ACAD-DENKIフルパック30日間 試用ライセンスのアクティベート お持ちの方はこちら 体験版としてアクティベート 今すぐアクティベート			
会せがアカティがート	Proxy設定			
3	== アクティベート済みライセンス一覧	×		
4.アクティベート済みライセンス一覧が表示します。	Proxy設定。 アクティベート解除 acf ファイル アクティベート	_		
5をクリックして、ラ イセンスキー(.acf ファイル)を選択します。	体験版追加アクティベート ライセンス更新 OK]		

※アクティペートにはネットワーク接続が必要です。

アクティベートするためのライセンスキー(.acf ファイル)は製品にメディアが同梱されます。

※アクティペート解除実行時もネットワーク接続が必要です。

ご使用の端末を変更される場合は、先にアクティベート解除を実行してください。

Ver.15 以前の旧バージョンからバージョンアップした場合

Ver.15 以前では、センチネルキー(ドングル)にてライセンスを管理していました。 Ver.16 以降では上記のライセンスキー(.acf ファイル)アクティベートに変わります。 バージョンアップ時、またはバージョンアップ後にセンチネルキー(ドングル)のご案内をしております。 センチネルキー(ドングル)を必ずご返却いただきますようにお願いいたします。

2-1-4. フローティングライセンス

【確認方法】

V	/er.14 以前の旧バージョンからバージョンアップした場合				
1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管	■ ライセンス形式の設定 □ ■ ■				
理ツール」ーしつ1セン人形式の設定」を選択します。	 ○ スタンドアロンライセンス(S) ◎ フローティングライセンス(F) 				
2.ライセンス形式の設定ダイアログの「フローティング	 ● サーバ1のIPアドレス(1) ● サーバ1のIPアドレス(1) 				
ノ1ビノス」を迭折します。					
サーバの IP アドレス/ライセンスの確認順が選択で きる状態になります。	ライセンスの確認順(P): フローティングのみ ▼				
	□ 選択中のIPアドレスのみチェックする(C)				
	OK キャンセル				
3. ライセンスの確認順は、右図のように3通り選択	■ ライセンス形式の設定 □ ■ ■				
じさまり。	 ○ スタンドアロンライセンス(S) ◎ フローティングライセンス(F) 				
V16 以降では この形式は使用いたしません	 ●サーバ1のIPアドレス(1) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	 				
本画面が表示されました場合は、次の171セノス タイプの切替」後に設定を行います。	ライセンスの確認順(P): フローティングのみ				
	□ 選択中のIPアドレスのみ スタンドアロン → フローティング フローティング → スタンドアロン				
	DE-JADOUA				

【ライセンスタイプの切替】

1.エクスプローラなどで以下の場所を開きます。

C:¥Program Files¥Common Files¥Alfatech (64bitPC の場合) C:¥Program Files(x86)¥Common Files¥Alfatech

2.AlfaNetworkLicenseType_V16.exe を実行しま す。ライセンス設定ダイアログが表示します。

3.「ネットワークライセンス(FlexNetFX)」を選択し、 [OK]をクリックします。

4.メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

😋 🔵 🗢 📕 « Common Files 🕨 Alfatech ▼ 4 Alfatechの検索 P 整理 🔹 💼 開く 新しいフォルダー H • 🗍 🔞 🌉 コンピューター . 名前 更新E^ 🛃 フロッピー ディスク ドライブ (A:) 🛛 2014/ alfaFNPLicenseMonitor.exe 🏭 ローカル ディスク (C:) alfaLicenseMonitor.exe 2012/ 2014/ PerfLogs alfaLicenseSetting.exe 🎍 Program Files 🚳 alfaLM.dll 2014/ alfaNetworkLicenseType_v16.exe 2014/ 📙 Alfatech <u>
可 alfaRI MSetting exe</u> 「ライセンス設定 📙 Autodesk X BabylonToolbar 使用するライセンスの種類を設定してください。 Bricsys Common Files ○ スタンドアロン(アクティベート)(R) 📙 Alfatech ☞ ネットワークライセンス(FlexNet)(F) Autodesk Shared + 4 alfaNetworkLicenseType_v16.exe 更新 OK ++>1211 アプリケーション ライセンス設定 X ネットワークライセンスの種類を "FlexNet Publisher" に設定しました。 OK

Ver.15 以降で新規インストールした場合 または FlexNet 切替

【ライセンス形式の設定の表示】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ライセンス形式の設定]を選択します。

ライセンス形式の設定ダイアログが表示されます。

2.サーバー構成を選択後、サーバーに IP アドレスまたはマシン名を入力します。

サーバーの IP アドレス、またはマシン名は、先に取 得されておりますライセンスファイルにご指定いただ きましたものになります。

- 3.[適用]をクリックします。
- 4.[終了]をクリックして終了します。

8.1.1	ライセンス形式の設	定		- • •	
FI	exNet Publisher(フロ	ーティングライセンス)			
	-サーバー構成				
	● シングル(S)	○ 分散(D)	○ 冗長(R)		
	- ライセンスサーバー設	定			
		IPアドレスまたはマ	シン名	ポート番号	
	サーバー(1)	DENKI-SERVER		27100	
□ サーバーの存在をチェックする(C)					
	没定のエクスポート(E)		適用	終了	

フローティングライセンスの設定につきましては、「各製品のインストールガイド」をご参照ください。

2-2. 管理者ツール

管理者ツールの説明をします。

管理者ツールは、ACAD-DENKIの操作や設定変更に対して制限を設けるツールです。

2-2-1. 管理者ツールの概要

下図は、管理者ツール表示画面です。



下記の3つの分類に分けてユーザを管理します。

- ・管理者(すべての操作/設定を行うユーザ)
- ・上級オペレータ(一部の設定変更に制限をつけたユーザ)
- ・一般オペレータ(管理者/上級オペレータ以外の機能制限付きユーザ)

「管理者」「上級オペレータ」は任意に登録します。登録されていないユーザは自動的に「一般オペレータ」となり ます。 登録方法は、「2-2-5.ユーザのグループ分類(管理者・上級オペレータの登録)」をご参照ください。

ユーザの操作制限を行わない場合や管理者ツールをインストールしない場合は、本設定を行う必要はありませ h.

2-2-2. 登録するユーザについて

ドメイン管理の場合、ドメインに登録されているユーザが対象になります。 ローカルユーザ管理の場合、同じユーザ名をすべての端末に登録してください。

【ドメイン管理の場合】

1.ネットワークにドメイン接続されている。 2.管理者、上級オペレータに設定するユーザはドメインに登録している。 3.ユーザのグループ(管理者、上級オペレータ、一般オペレータ)分けを決める。

【ローカルユーザ管理の場合】

1.各クライアントの「ユーザ管理」に管理者・上級オペレータに登録するユーザ名が登録されている。 2.ユーザのグループ(管理者、上級オペレータ、一般オペレータ)分けを決める。

(補足)

管理者、上級オペレータ以外のユーザは一般ユーザと判断されます。 必ず管理者を登録してください。 上級オペレータと一般オペレータを分けない場合、上級オペレータの登録は不要です。

2-2-3. 運用前の確認

自社の接続方法とユーザ管理について確認します。 本操作は管理者権限のあるユーザで行います。端末を Administrator(Administrator の権限をもつユーザ)で 問題なく起動できるようにご準備ください。 ※パスワードを設定されている場合は、あらかじめご確認ください。

管理者ツール運用前の確認事項

・管理するユーザ名

・ネットワーク接続

例 1)ドメイン管理

サーバーを使用してドメイン管理を行っている ABC 工業(仮称)の運用例です。



端末 A~端末 E のすべて、 "Z:¥"に問題なく接続できる。

本例は1例です。

本例は、サーバに ACAD-DENKI をインストールしていませんが、ACAD-DENKI をインストールしても差し支えありません。

例 2)ワークグループ管理



・その他のユーザ

→上級オペレータ:USER-2 どちらにも登録されていない USER-3 は一般オペレータになります。 ※上級オペレータを登録しない場合、管理者以外のユーザは一般オペレータとなります。 管理者/上級オペレータ/一般オペレータは社内の運用で取り決めます。

・ネットワーク接続

[端末 1]の共有フォルダを"Z:¥"としている。 端末 1~端末 3 のすべて、問題なく"Z:¥"に接続できる

2-2-4. ユーザグループの権限

管理者ツール未使用の場合、ACAD-DENKIの設定・操作可否の権限は一般的に登録されているユーザグル ープの権限に依存します。

- 〇:操作可能(コマンドの操作・設定変更など通常の操作が可能です。)
- △:起動・参照のみ(コマンドの操作などが可能です。設定は参照のみです。)
- ×:操作・登録不可(コマンドの操作・設定の変更登録など殆どの内容が制限されます。)
- 表 1:ユーザグループと権限

		管理者ツールイン ストール/未設定		管理者ツー非イン ストール	
管理者グループのユーザ(Administrator)		実行	結果	実行	結果
管理者ツール	管理者の登録				
	実行可能な操作				
ACAD-DENKI	AutoCAD の設定				
(管理者ツール	ショートカットメニューの設定				
インストール時)	環境管理	0	0		
	使用属性の設定			0	0
	場所の確認と変更				•
ライセンス形式の設定	定	4			
部品マスタ設定		4			
IO 自動作図設定					
Power User グルーフ	プのユーザ	実行	結果	実行	結果
管理者ツール	管理者の登録	Δ	×		
	実行可能な操作	0	0		
ACAD-DENKI	AutoCAD の設定	0	0	0	0
(管理者ツール	ショートカットメニューの設定	0	0	0	0
インストール時)	環境管理	0	0	0	0
	使用属性の設定	0	0	0	0
	場所の確認と変更	0	0	0	0
ライセンス形式の設定	定	0	0	0	0
部品マスタ設定	マスタ設定 O O O		0		
IO 自動作図設定		0	0	0	0
User グループのユー	ザ	実行	結果	実行	結果
管理者ツール	管理者の登録	×	×		
	実行可能な操作	×	×		
ACAD-DENKI	AutoCAD の設定	×	×	×	×
(管理者ツール	ショートカットメニューの設定	×	×	×	×
インストール時)	環境管理	×	×	×	×
	使用属性の設定	×	×	×	×
	場所の確認と変更	Δ	×	Δ	×
ライセンス形式の設定		Δ	×	Δ	×
部品マスタ設定		×	×	×	×
IO 自動作図設定		0	0	0	0

※管理者ツールをインストールして設定されている場合は、管理者ツールの設定が優先されます。

2-2-5. ユーザのグループ分類(管理者・上級オペレータの登録)

本操作は、管理者ツールをインストールした端末で実行します。 「<u>2-2.管理者ツール</u>」の例 1)にある[端末 A]を例としています。 【操作例】

- **1.**端末 A に「Administrator の権限をもつユーザ」 でログオンします。
 - ※本例では、「Dom ¥ user1」(Administrator 権限ユーザ)としています。
- 2.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[管理者ツール]-[管理者ツール]を選 択して起動します。
- **3.**アルファテック管理者ツールダイアログが表示されます。

「処理を選択(D):」からユーザのグループを分類を 選択します。

(デフォルト選択)

4.[実行]をクリックします。

- **5.**ユーザのグループを分類ダイアログが表示されます。
 - ※ログオンユーザ名には、現在のログオンユー ザ名が表示されます。 「管理者」として登録するログオンユーザ名を 入力します。

右図例

Dom¥USER1

※「ドメイン名¥ユーザ名」と言うように、ドメイ ンとユーザを「¥」で区切って入力してください。



H B月	
ックローン 任意のユーザを、グループく管理者、上級オペレータ、 一般オペレータ)に分類します。	
ユーザをグループに所属させることで、使用可能な機能を制 限することができます。	

実行

閉じる

ユーザのグループを分類	×
ーログオンユーザ名(N)	
Dom¥user1	
管理者(P) 上級オペレータ(A)	
- 登録済みユーザー覧(L)	
	*
	-
除外(R)	
ОК キャンセル	

2章.管理ツール

×

*

-

×

.

×

*

÷

6.[管理者]をクリックします。	ユーザのグループを分類	
	- ログオンユーザ名(N)	
	Dom¥user1	
	管理者(P) 上級オペレータ(A)	
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
ロクオンユーザ名に表示されている、「ドメイ		_
ン名¥ユーザ名」が登録済みユーザー覧に (管理者)として表示されます。		
	₿å	於外(R)
	OK         キャンセル	
7.次に、「上級オペレータ」を登録します。		
	ユーザのグループを分類	
	ーログオンユーザ名(N)	
	Dom¥user2	
	管理者(P) 上級オペレータ(A)	
ログオンユーザ名に[上級オペレータ」として	◎ 緑溶みフーザー覧([)	
登録する「ログオン名¥ユーザ名」を入力し	Dom¥user1 (管理者)	
ます。		
右図例 Dom¥USER2		
8. [上級オペレータ]をクリックします。	ß	余外(R)
ログオンユーザ名に表示されている、「ドメイン名 ¥ユーザ名」が登録済みユーザー覧に(上級オペ レータ)として表示されます。	OK キャンセル	
	「ユーザのグループを分類	(
<b>9.</b> [OK]をクリックします。	ログオンユーザ名(N)	
ᄬᇢᆙᆿᆘᆉᅝᇭᅖᆂᅚᆝᄱᅸᄮᅆᆝᅟᄝᅆ	Dom¥user2	
※回しユーリを[官埋有][上級オペレータ]の 五士に発得することはつきません	管理者(P) 上級オペレータ(A)	
刀に豆球りることはとさよせか。 どたられで発発されている比能でさんに別の		
たりななっていている状態ででのに別の	②読済みユーザー覧(L)	_
作がですうなうに豆球しなうにすると下記の	Dom#user1 (管理者) Dom¥user2 (上級オペレータ	0
ようなパラビッジ 弦示で11859。		
アルファテック管理者ツール		
▲ 既に登録されています。		
	B	余外(R)
	Page 1	
UK	OK         キャンセル	

 10.アルファテック管理者ツールの確認のダイアログが表示されます。
 [OK]をクリックします。
 アルファテック管理者、上級オペレータが指定されました。 ※これ以外のログオンユーザは、一般オペレータとなります。
 よろしいですか?
 はい(Y) いいえ(N)
 11.アルファテック管理者ツールの設定保存メッセージが表示されます。

[OK]をクリックします。

これで、管理者と上級オペレータの登録は終了です。

#### 2-2-6. 実行可能な機能の設定

1.アルファテック管理者ツールの初期ダイアログが表示されています。

選択: 実行可能な機能の選択

[実行]をクリックします。

2.実行可能な機能ダイアログが表示されています。

[管理者(P)すべての機能を実行化]をクリックします。





3.管理者の実行可能な機能が確認できます。

管理者はすべての機能が実行可能となります。 管理者の機能制限はできません。

**4.**上級オペレータの実行可能な機能を設定します。

5.右図は一例です。

環境設定などの機能を変更できないように制限しています。

- 6.一般オペレータの実行可能な機能を設定しま す。
  - 「一般オペレータ(N)実行可能な機能を設定」をク リックします。

チェックボックスを操作して、一般オペレータが実行 する機能を設定します。

7.右図は一例です。

各種設定に加え、シンボルや図枠の変更などを 制限しています。

[OK]をクリックします。

8.アルファテック管理者ツールの確認のダイアログが 表示されます。

[はい]をクリックします。

分類	実行可能な機能(C):	
管理者(P) すべての機能を実行可	<ul> <li>■ 電キャビ</li> <li>■ 階層設定</li> <li>■ データベース接続設定</li> <li>■ P/a=&gt; ペレー km th</li> </ul>	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	■ ACAD-DENKIFI図メニュー 「 電線情報題发定 「 パターン登録(共通)	:
	<ul> <li>ビ シンボル庫の管理(シンボル登録、グループ化)</li> <li>ビ シンボル入力(パレット)のカタログ編集</li> <li>ビ システムシンボル登録</li> </ul>	
	<ul> <li>✓ 図枠作成・編集</li> <li>✓ ACAD-DENKI環境設定</li> <li>✓ 展開表データ作成</li> </ul>	
	✓ ゲート種別の編集 ✓ 別盤名称の候補	







9.アルファテック管理者ツールの設定保存メッセージ が表示されます。

[OK]をクリックします。

これで、上級オペレータと一般オペレータの実行可 能な機能の登録は終了です。

**10.**アルファテック管理者ツールダイアログが表示されます。

[閉じる]をクリックします。

これで、各オペレータへの実行可能な機能制限設定の終了です。

アルファラ	・ック管理者ツール 🎫
	設定を保存しました。
	ок

ペート     ペーー     ペーー     ペーー     ペーー     ペーー
処理を選択(D):
፪ ユーザのグループを分類
実行可能な機能の選択
グループごとに、操作または設定可能な項目を選択します。
・管理者は、すべての機能を利用できます。 ・上級オペレータ、一般オペレータには、 一部の機能を制限できます。
実行 閉じる

### 2-2-7. 管理者情報の書き出し

登録した直後では、管理者情報は登録した端末にしか設定されていません。 登録後、設定内容を他の端末に登録する準備として、管理者情報の書き出しを行います。



### 2-2-8. 管理者の登録(更新)

管理者情報の書き出し(準備)終了後、管理者の登録(更新)を行います。 この操作は、ACAD-DENKIを実行するすべての端末で行います。(ネットワーク接続必須) 「2-2.管理者ツール」の[端末 B]~ [端末 E]を例としています。

#### 【操作例】

- **1.**端末を Administrator(Administrator の権限を もつユーザ)で起動します。
- **2.**[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-DENKI]-[管理者の登録(更 新)]を選択します。
- **3.**管理者グループの更新ダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

管理者グノ	レープの更新	×
i	管理者と上級オペレータの登録情報を更新しました。	
	ок	

※正常に登録できた場合に表示されます。

#### 2-2-9. 管理者の登録(更新)エラーメッセージ

「管理者の登録(更新)」では下記の内容が実行されます。 ・各端末の Windows ユーザグループに ACAD-DENKI 専用のグループを追加 ・ACAD-DENKI 環境にユーザグループの権限情報を登録のため、下記のような権限が必要です。 ・Windows ユーザグループを追加する権限 ・環境先(場所の確認と一括変更の設定環境の作成先パス)への書き込み権限

くエラーメッセージ 1>

「管理者・上級オペレータの追加に失敗しました。」

ユーザが認識できない場合に表示されます。 ネットワーク接続に問題がある・ログオンユーザ名が存在しないなどの可能性があります。 ネットワーク接続・ログオンユーザ名をご確認ください。

<エラーメッセージ 2>

管理者グループの更新	×
Z:¥ACAD-DENKI¥NetSetup¥NetSetup_DENKI.ini' が見た ので、管理者グループの更新が行えません。	つからない
	ок

更新元のファイルが確認できない場合に表示されます。

管理者グループの更新を行っている端末に、ACAD-DENKIがネットワークインストールされていない、もしくは、 「<u>2-2-7.管理者情報の書き出し</u>」が正常に実行されていないなどが考えられます。 ネットワークインストールが実行されているか、「<u>2-2-7.管理者情報の書き出し</u>」を参照し、構成ファイル (NetSetup_DENKI.ini)が正常に作成されているかをご確認ください。

各エラーの問題を解消した後、再度実行してください。

#### 2-2-10. ユーザの操作制限メッセージ例

「<u>2-2-5.ユーザのグループ分類(管理者・上級オペレータの登録)</u>」で設定したグループのオペレータが、制限されている操作を使用した場合、以下のようなメッセージが表示されます。

「本機能を実行する権限がありません。管理者にご確認ください。」

## 2-3. 場所の確認と一括変更

環境先を変更する方法について説明します。

環境先:設定環境の作成先、シンボル庫、ドキュメント(図面)の作成先

ネットワーク上で一元管理される場合に、必ず本操作が必要です。

※一元管理について

1 台の代表マシン(サーバ)の決められたフォルダを共有します。 共有したフォルダは社内の取り決めに従い、複数のユーザ(端末)からアクセスします。 このように、1 つの場所を複数のユーザで共有し、同じ設定でアプリケーションを使用することを 一元管理と表現しています。

#### 2-3-1. 場所の確認と一括変更の確認

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[場所の確認と一括変更]を選択しま す。

場所の確認と一括変更ダイアログが表示されま す。

2 場所の確認と一括変更	×
設定環境の作成先: C¥ProgramData¥Alfatech¥ACAD-DENKI	<b>```</b>
シンボル庫:  C¥Users¥Public¥Documents¥Alfatech¥ACAD-DENK1¥Symbols	
スクリプトテンプレートの作成先:  C¥Users¥Public¥Documents¥Alfatech¥ACAD-DENKI¥Documents	
	開じる

■設定環境の作成先

:使用製品環境の作成先

■シンボル庫

:使用製品で使用するシンボル・パターンの保存先

■スクリプトテンプレートの作成先:各種ドキュメント(プロットスクリプトテンプレートなど)

※通常は、[場所の確認と一括変更]で上記のパスに共有パスを指定します。 複数製品をご使用時に、製品ごとの環境パスを指定する場合のみ各製品の-[場所の確認と変更]で指定します。

操作手順につきましては、「インストールガイド」の「ネットワークでの一元管理」をご参照ください。

【ご注意】

「場所の確認と一括変更」の各設定の作成先は、各々別のフォルダを指定してください。他の設定パスと同じ、 または上位/下位にあたるフォルダは指定できません。



各製品の設定項目について説明します。 ACAD-DENKI、電キャビ、その他オプションので運用前に行うことが望ましい設定です。

## 3-1. ACAD-DENKI

ACAD-DENKIの設定項目について説明します。

3-1-1. 設定項目の確認

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]以下の設定を確認します。



■DENKI2000→ACAD-DENKI 移行ツール

- ■ショートカットメニューの設定(<u>3-1-3.ショートカットメニューの設定の確認</u>)
- ■プロットスクリプトテンプレート管理(3-1-4.プロットスクリプトテンプレート管理の確認)
- ■ベース CAD の変更(<u>3-1-2.ベース CAD の変更の確認</u>)
- ■ペーパー空間対応設定
- ■環境管理
- ■管理者の登録(更新)
- ■使用属性の設定(3-1-5.使用属性の設定)
- 使用属性の設定のヘルプ
- ■場所の確認と変更※1

各種設定の操作手順につきましては、<u>1-2-3.製品別参照マニュアル一覧参照</u>の上、該当マニュアルをご確認 ください。

※1 場所の確認と変更は ACAD-DENKI 単体の環境先変更になります。
 通常は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]
 (2-3.場所の確認と一括変更 参照)で指定します。

## 3-1-2. ベース CAD の変更の確認

ACAD-DENKIで使用できるベース CAD 製品が複数インストールされているとき、ACAD-DENKI から起動する CAD を選択することができます。

※本操作例は、32bitOS で AutoCAD/BricsCAD が使用できる環境の場合です。

#### 【操作手順】

<b>1.</b> [スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-DENKI]-[ベース CAD の変 更]を選択します。	CAD の選択            記動する CAD を選択してください                  記動する CAD を選択してください                     アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ベース CAD の選択ダイアログ(右図)が表示されま す。	一覧(L): AutoCAD 2013 - Japanese BricsCAD 14.2 BricsCAD 15.2
「一覧」には、現在選択することのできるベース CAD が表示されます。	
また、ダイアログの初期表示は、現在使用している ベース CAD が選択された状態です。	<b>OK</b> キャンセル
<b>2.</b> 使用(変更)するベース CAD を選択します。	CAD の選択
	<ul> <li>記動する CAD を選択してください</li> <li>一覧(L):</li> <li>AutoCAD 2013 - Japanese BricsCAD 14.2</li> <li>BricsCAD 15.2</li> </ul>
<b>3.</b> [OK]をクリックします。	ОК <i><b></b><i></i></i>
4.変更した結果のダイアログが表示されます。	CAD の選択
[OK]をクリックします。	() "ACAD-DENKI" で起動する CAD を "BricsCAD 15.2" に設定しました。
これで、使用する CAD を変更する手順の終了で す。	ОК
【備考】	
ベース CAD が単一の場合(ほとんどの場合)に、" ベース CAD の変更"を実行すると右図のダイアロ グが表示されます。	CAD の選択 CAD の選択 ACAD-DENKI" で起動する CAD を "AutoCAD 2013 - Japanese" に 設定しました。
(ベース CAD が AutoCAD2013 の例)	
変更できる CAD がありませんので [OK]をクリック して、ダイアログを終了します。	ок

3-1-3. ショートカットメニューの設定の確認 【操作手順】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 🧧 ショートカットメニュー - - -理ツール]-[ACAD-DENKI]-[ショートカットメニュ 製品(P) ACAD-DENKI ーの設定]を選択します。 ショートカットメニュー(M) 図形選択なし ☑ クイック配線入力 ☑ 配線入力-標準 シンボル入力(パレット) ショートカットメニューダイアログ(右図)が表示しま ☑ パターン入力(一時) す。 ☑ パターン入力(共通) ☑ 文字入力 単一選択 - 円・円弧 ☑ 中心線+ 単一 曜択 - 文字 ☑ 編集(DENKT) 2.マウス右クリックで表示されるショートカットメニュー ✓ 複写(DENKI) に表示したいメニューにチェックを入力します。 ▼ パターン登録(一時) 単一確択 - 配線 ✓ 編集(DENKI) (右図はデフォルト) ☑ 移動(DENKI) ☑ 削除(DENKI) 単一選択 - 線番シンボル ☑ 編集(DENKI) ✓ 移動(DENKI) [OK]をクリックします。 ☑ 削除(DENKI) 単一選択 - 電気シンボル ☑ 編集(DENKI) ☑ 複写(DENKI) ☑ 移動(DENKI) OK キャンセル ヘルプ 右図は、画面上で右クリックし、ショートカットメニ ューを表示した状態の例です。 1 5 5 クイック配線入力(1) 配線入力-標準(2) シンボル入力(パレット) パターン入力(一時)(4) パターン入力(共通)(5) 文字入力(6) コピー(Q) 基点コピー(B) (ね 元に戻す(1)) オ 画面相対的(A)
 ズーム(2)
 SteeringWhee

## 3-1-4. プロットスクリプトテンプレート管理の確認

連続印刷に使用します。

「プロットスクリプトテンプレート」は、使用するプロッタ、プリンタ毎に作成する必要があります。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[プロットスクリプトテンプレート管理] で起動します。

アクション レコー ▶ クイック選択(2) 目 クイック計算 (型 文字検索(2).

- + G

プロットスクリプトテンプレートの内容、作成/編集の操作手順につきましては、「ACAD-DENKIトレーニングマニュ アル(入門編)」の「7.印刷」をご参照ください。

## 3-1-5. 使用属性の設定

使用属性の設定では、ACAD-DENKIの提供属性以外の属性を定義することができます。提供属性以外の情報を部品情報として図面から抽出したい場合に、ユーザが定義する属性を追加登録します。

**1.**[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-DENKI]-[使用属性の設定] を選択します。

使用属性の設定ダイアログが表示されます。



2.ユーザ定義属性を付加するシンボル種別を選択 します。

右図例

電気図

首使	用属性の設定	E - ACAD-DENKI (AI	BC工業 環境)	- • •
シンボル 詳細(L	ル種別(S) .)	วา/ม วา/ม	<b>•</b>	
	属性	接点 器具展開表 雷気図 N	E付ける 属性編集で 隠す	属性!▲ *そ0 表示 下に移動(F)
		UVB UV9 M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	E	「(こ行動)(に))     「行道助(①     「行道助(①     「行前耶条(R)     □ック病罕除(U)     居性減写(C)     「    續小して     震小(の)     「    撮供爾性     遠用(A)     OK     キャンセル
4				

I 使用属性の設定 - ACAD-DENKI (ABC工業環境) - - -シンボル種別(S) 雷気図 • 詳細(L) 属性 * その 表示 上(:移動(T) 追番を付ける 属性編集で 画層 属性 名称 下(ご移動(B) 行追加(1) 行削除(R) ロック解释余(U) 属性褀写(C) □ 縮小して 表示(M) □ 提供属性 表示(F) 適用(A) OK キャンセル ヘルプ 4 +

3.属性の追加のために[行追加(I)]をクリックします。

新しい行が追加されます。

4.それぞれにキーボードから値を入力します。

属性:ZOKU1

名称:追加属性1

画層:ZOKU

5. [属性複写(C)]をクリックします。

國使	用属性の設	定 - ACAD-D	ENKT (ABC	(工業 環境)			
シンボ 詳細()	ル種別(S) L)	/ 電気図		•			
	属性	名称	画層	追番を付ける	属性編集で 隠す	属性:▲ ※その 表示	上に移動(T) 下に移動(B)
56	ZOKU1	追加属性1	ZOKU	2			行追加(1)
							行削除(R)
							属性複写(0)
							□ 表示(M) □ 提供属性 □ 表示(F)
							適用(A)
							OK キャンセル
4			1			▼ ►	~///プ

6.シンボル種別[電気図]の属性をコピーダイアログ が表示されます。コピー先のシンボル種別を指示 します。

※複数選択する場合は、キーボードから 「CTRL」を押しながらクリックしてください。



7.右図を参考に、コピー先のシンボル種別を複数 選択します。

選択種別 コイル 接点展開端端子 中継 コネクタ端子

8.[OK]をクリックします。


**9.**確認のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。



10.使用属性の設定ダイアログに戻ります。

[OK]をクリックします。

🥶 使用属性の設定 - ACAD-DENKI (ABC工業 環境)									
シンボル 詳細(L									
	属性	名称	画層	追番を付ける	属性編集で 隠す	属性)▲ ※その 表示	上に移動(T) 下に移動(B)		
56	ZOKU1	追加属性1	ZOKU	-			行追加(1)		
							行削除(R)		
							国外解除(0) 属性複写(C)		
							□ 縮小して 表示(M)		
							□ 提供属性 表示(F)		
							適用(A)		
							OK		
						-	キャンセル		
•						•	~10		

11.保存確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックします。

12.確認のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。



使用属性0	D設定	x
Â	設定を保存しました。	
	ОК	2

# 【使用属性の設定で登録した属性をシステムシンボルに追加する例】

1.ACAD-DENKIを起動します。

2.[シンボル]-[システムシンボル登録]を選択します。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

**3.**「種別」コンボボックス右のドロップダウンボタン[V] をクリックします。

プルダウンメニューが表示されます。

### 選択: 外部端子シンボル(上)

/ システムシンボル登録	
種別	
線番シンボル	▼
シンボル名	プレビュー
Senban Senban1 SENBANG	
	•
編集	削除キャンセル

▶ システムシンボル登録	
種別	
線番シンボル	•
線番シンボル 交点マークシンボル 配線交差形状やシンボル フレキシブル接続シンボル コネクタ属性シンボル(電気図) ユニット属性シンボル(電気図)	A
外音的端子シンボル(上) 外音的端子シンボル(下) 外音的端子シンボル(左) 外音的端子シンボル(右) 中継端子シンボル(上) 中継端子シンボル(下) 中継端子シンボル(下) 中継端子シンボル(左) 中継端子シンボル(左)	

4.シンボル名を選択します。

シンボル名:OutCir1

[編集]をクリックします。

🝌 システムシンボル登録	- • <del>×</del>
種別	
外部端子シンボル(上)	
シンボル名	プレビュー
OutCir U1 OutCir U1 OutFai1 OutFaiU1	標準提供シンボル
	(※削除不可) シンボルの説明 〇形-枠線上、手配置
編集	川除 キャンセル //

位置あわせ(A):

デフォルト値(T):

<前へ(B) 次へ(N)>

角度(R):

左寄せ

0

•

-

配置(P)

閉じる

5.AutoCAD 上で選択したシンボルファイルが開きます。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

[属性配置]をクリックします。



6.属性配置ダイアログが表示されます。

※「配置する属性の一覧」の一番下に追加 設定した「追加属性」が表示されます。

選択:追加属性1

属性を非表示画層(PIN0FF)に 配置する: チェック入力

属性プロパティなどを調整します。

(右図は一例です。)

[配置(P)]をクリックします。

7.配置する場所をクリックします。

(右図は一例です。)



8.属性配置ダイアログは[閉じる]をクリックします。

属性配置ダイアログが終了します。



9.システムシンボル登録ダイアログの[登録]をクリック します。

システムシン	システムシンボル登録						
属性配置	登録	キャンセル					

3. 端子属性の配置

8

고문

卻径

☑ 属性を非表示画層 (PINOFF) (こ配置する(V)

部品ID 部品ID

10.システムシンボルの保存ダイアログが表示されま	
す。	

本例では、システムシンボルを上書きします。

[保存]をクリックします。

11.上書き確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックします。

12.保存確認のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

システムシンボルの保ィ	<del>荐</del>	×
<ul> <li>シンボル種別</li> <li>外部端子シンボル(上)</li> <li>シンボル名</li> <li>シンボルの訳別</li> <li>シンボルの説明</li> <li>〇形・枠線上、手配置</li> </ul>		
保存	戻る - 252.902	470
E	BricsCAD 23 同名のシンボルが存在します。 上書きしますか? (はい(Y) し、 いいえ(N)	U F2X
	BricsCAD シンボルを保存しました。	
	ок	

# 3-2. 電キャビ

電キャビで設定する項目について説明します。

設定は[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]以下に各製品のフォルダごとになります。

### 3-2-1. 設定項目の確認

設定する項目は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]以下となります。 Windows8 の場合、デスクトップの「アルファテックランチャー」内にあります。

퉬 ACAD-Parts	*	
鷆 ユーティリティ		
🍌 管理ツール		
画 ライセンス形式の設定		admin7
🌇 構成の一括書き出し		
臭 場所の確認と一括変更		ドキュメント
👪 ACAD-DENKI		ビカチャ
🍌 ACAD-Net		
) ACAD-Parts	E	ミュージック
🎉 管理者ツール		
🕌 電キヤビ 💦		コンピューター
▶ マイデータベースの初期化		コントロールパネル
🎦 階層設定		
· 環境管理		デバイスとプリンター
 □ 旧電キャビの設定・データの移	:	
😐 場所の確認と変更		既定のプログラム
🔜 接続設定	Ŧ	ヘルプとサポート
▲ 前に戻る		
プログラムとファイルの検索	1	シャットダウン 🕟

電キャビの管理ツールでは以下のことを行います。

- ■マイデータベースの初期化(3-2-2.マイデータベースの初期化の確認)
- ■階層設定(3-2-3.階層設定の確認)
- ■環境管理
- ■旧電キャビ設定・データ移行
- ■場所の確認と変更※1
- ■接続設定(<u>3-2-4.接続設定の確認</u>)

各種設定の操作手順につきましては、<u>1-2-3.製品別参照マニュアル一覧参照</u>の上、該当マニュアルをご確認 ください。

※1 場所の確認と変更は電キャビ単体のみの環境先の変更になります。 通常の場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]で 環境の作成先を指定します。(2-3.場所の確認と一括変更参照)

### 3-2-2. マイデータベースの初期化の確認

マイデータベースの初期化は、何らかの理由で、「電キャビ」の表示画面を初期状態に戻す場合に、マイデータベースを初期化するものです。

#### 【操作手順】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[電キャビ]-[データベースの初期化]を 選択します。



電キャビダイアログが表示されます。

- [OK] :電キャビのマイデータベースが初期化されます。 電キャビのマイデータベース以下は空になります。
- [キャンセル] :ダイアログをキャンセルします。(デフォルト選択)
- ※マイデータベースを初期化後に電キャビを起動すると、画面のマイデータベースの内容は空になります。 既存のフォルダ構成で、新しく電キャビの画面を構成する場合は、基点フォルダを指定し、基点フォルダごとに 「インポート」作業を実行してください。

### 3-2-3. 階層設定の確認

階層設定は管理フォルダ構成・プロパティ情報・アプリケーションなど、「電キャビ」で図面を管理するための設定です。

【操作手順】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[電キャビ]-[階層設定]を選択します。

階層設定ダイアログが表示されます。

新環境は、[新規作成(N)]をクリックして作成します。

2.右図は作成例です。2つの異なる階層を設定しています。

設定内容の編集・確認は、表示名を選択し、[設 定の編集(E)]をクリックして行います。

表示名 ペー_ 階層数 使用中 製品名 環境の説明 新規 複数の そ示名 ペー_ 階層数 使用中 製品名 環境の説明 削 製品の 配 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	
	作成(N)
第二名 べー」 階層数 使用中 製品名 環境の説明 2 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 第1 名 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 第1 名 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 第1 名 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC ● 第1 名 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC)	を作馬覧(C)
▲ 111	名変更(R)
	D編集(E)
<ul> <li>第四級定</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>次日</li> <li>2</li> <li>ACAD-DENKI</li> <li>ACAD-DENKI (ABC)</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>第</li> <li>4</li> <li>ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC)</li> <li>第</li> <li>1</li> <li1< li=""> <li1< li=""> <l< td=""><td></td></l<></li1<></li1<></ul>	
第層設定 第: 第: 表示名 べー」階層数 (使用中 製品名 環境の説明 源層 2 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 源層 3 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 展示名実更(R 設定の編集(E)	『余(D)
	D)選択(P)
	112字(の)
★ 第二	18X/E(0/
諸層設定 覧: 表示名 ペー_ 階層数 使用中 製品名 環境の説明 承層 2 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 承層 3 ACAD-DENKI ACAD-DENKI (ABC 表示名変更(R 設定の編集(E)	閉じる
	<b>X</b>
2月1日 2 HOAD DEINI HOAD DEINI HOAD DEINI (ADO 薄層 3 ACAD-DENNI ACAD-DENNI (ABC 表示名変更(R 設定の編集(E)	
表示名英更(R 設定の編集(E)	)
設定の編集(E)	۷
	)
Flag(D)	
製品の減択(P)	)
起動設定(S)	

### 3章.設定項目(製品別)

**3.**選択した表示名の設定内容のダイアログが表示 されます。

「ファイル・フォルダ」タブを表示した例です。

	~~~~										
F 🖬 🕼 *::	× 🗈 🕈										
ォルダ・ファイル	図種・用紙 スケ	r-JL [図枠転記 選折	ひ スト アプリケーション							
名称	階層		項目名称	入力形式		入力種	別	文字数	選択リストジ	8	
∩製番	1	1	ページ	ファイル名				63			
白装置	2	2	種類	アブリケーションの種類				64			
🗅 物件	3	3	シート記号	シート記号				100			
ß	FILE	4	盤No.	盤No.				100			
		5	図種	図種				40			
		6	用紙	図枠				100			
		7	スケール	スケール				40			
		8	図番	コンポエディットボックス	•	すべて	•	100	Zuban.dat	-	
		9	タイトル	コンボエディットボックス	•	すべて	-	100	Title.dat	-	
		10	図面内容	テキストボックス	•	すべて	-	100		-	
		11	設計者	コンボエディットボックス	-	すべて	-	100	Tantou.dat	-	
		12	承認者	コンボエディットボックス	-	すべて	•	100	Tantou.dat	•	
		13	検回者	TンボTディットボックス	-	オペア	-	100	Tantou dat	-	

4.設定の確認・編集は各設定タブを選択して行います。

図は「図種・用紙」タブを表示した例です。



5.編集例です。

左ペインに新規図種を作成しています。

ファイル(F) 編集(E) ツール(T) GP 国 泡 泡 × → ↓ ◆ ◆ フォルダ・ファイル *13倍・用紙 入ケール 図特細胞 選択(入ト アガリケーション) 図種名 日での他図 日でかし 日次 日次 ・ 	🐣 3階層	×
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○<	ファイル(F) 編集(E) ツール(T)	
フォルダ・ファイル *101位: 用紙、スケール 図時福祉 漫迎の人に、アフリケーション 図時名 用紙口 用紙名称 図面範囲(係) ブロック 日本紙 日本 ・ ・	😂 🖬 🐚 🎼 🗙 🖢 🗣	
図推名 用紙D 用紙名称 図面範囲(検) 200% □ 電気図 1 □ その他図 □ 未紙 □ 目次	フォルダ・ファイル *国種・用紙 スケール 図枠転記 違訳リスト アプリケーション	
	図種名 用紙ID 用紙名称 図面範囲(横) 図面範囲(縦) ブロッタ	
	日表紙	
< <u> </u>		
< <u> </u>		
< >		
< >		
変更 ***		変更 ***

6.左ペインに追加した図種に対して、右ペインで選 択項目を追加します。

編集を加えた場合、[ファイル]-[設定の保存](単 独のタブ内容を保存する場合)もしくは[全ての設 定を保存](*のつく編集途中のタブ全てを保存す る場合)を選択して保存します。

7.確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックします。



3章.設定項目(製品別)

8.右図は「図枠転記」タブを表示しています。

左側の図題項目の内容は、ACAD-DENKIで登録されている図題項目が表示されます。

[ファイル]-[終了]を選択し終了します。

階層				
イル(F) ツーノ	ν(T)			
	< 6 #			
	r marine i a Datat	217 Microsoft Trade		
ルタ・ファイル 国権	■・用紙 スケール 区州平単	なるこ 「濫択リスト アフリ	7-992	
	データベースの階層	データベースの	内容	
ディレクトリ名	物件	▼ ディレクトリ名	-	
物件名	物件	▼ 物件名	•	
設計者	ファイル	▼ 設計者	•	
検図者	ファイル	▼ 検図者	•	
承認者	ファイル	▼ 承認者	•	
納入先	物件	▼ 納入先	•	
注文主	物件	▼ 注文先	-	
設計年	ファイル	▼ 設計日(年)	•	
設計月	ファイル	▼ 設計日(月)	•	
設計日	ファイル	▼ 設計日(日)	-	
検図年	ファイル	▼ 検図日(年)	•	
検図月	ファイル	▼ 検図日(月)	•	
検図日	ファイル	▼ 検図日(日)	•	

9.階層設定ダイアログに戻ります。

表示名	ぺ−	階層数	使用中	製品名	環境の説明	新規作成(N)
🗅 2階層		2		ACAD-DENKI	ACAD-DENKI (ABC	a 補製を作成(C)
🚞 3階層		3		ACAD-DENKI	ACAD-DENKI (ABC	
						表示名変更(R)
						設定の編集(E)
						製品の選択(P)
						(2)完得情味

設定を終了する場合は、[閉じる]をクリックします。

3-2-4. 接続設定の確認

運用するデータベースの種類の設定、共有データベースの接続設定をします。

【操作手順】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[電キャビ]-[接続設定]を選択します。

電キャビデータベース接続設定ダイアログが表示されます。

マイデータベースを使用する設定例

💷 電キャビ デ	ータベース接続設定		×
共有データベース	【の→覧(L):		
名前	接続文字列		追加(A)
			編集(E)
			削除(D)
☑ 個人用のデー	-タベース (マイ データベース) を使用	する(P)	開じる

共有データベースとマイデータベースを使用する設定例

E	🛯 電キャビ データベー	- ス接続設定	×
	共有データベースの一覧(L) :	
	名前	接続文字列	追加(A)
	DENCABI8	Provider=SQLOLED	編集(E) 削除(D)
	🔽 個人用のデータベース	(マイ データベース)を使用する(P)	<u>閉じる</u>

※共有データベースを使用する場合、先にデータベース用のサーバーにデータベース"Microsoft SQL Serve(MSDE)","Oracle"をインストールし手億必要があります。そのデータベースに接続設定を行います。 共有データベースについでは「データベース接続設定マニュアル」をご参照ください。

■補足 SQL Server について

Microsoft SQL Server とは、マイクロソフト社が開発している、リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS)です。 電キャビの共有データベース、マイデータベースは無償版エディションを使用しています。

3-3. ACAD-Parts

ACAD-Parts で設定する項目について説明します。

3-3-1. 設定項目の確認

設定する項目は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]以下です。 Windows 8 の場合、デスクトップの「アルファテックランチャー」内にあります。



ACAD-Partsの管理ツールでは以下のことを行います。

- ■環境設定(<u>3-3-3.環境設定の確認</u>)
- ■接続設定
- ■部品マスタメンテナンス
- ■部品マスタ設定(3-3-2.部品マスタ設定)

各種設定の操作手順につきましては、<u>1-2-3.製品別参照マニュアル一覧 P5 参照</u>の上、該当マニュアルをご 確認下さい。

X

3-3-2. 部品マスタ設定

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタ設定]を 選択します。

部品マスタ設定ダイアログが表示されます。

右図は「部品表設定」タブを表示しています。

	タイトル	割り付け属性名	表示	-	Hに移動
1	部品コード	CODE	1		
2	対応電気シンボル	BOMDSYM	1		T1-40.
3	対応器具シンボル	BOMBSYM	1		トIC相利
4	型式	TYPE	1		_
5	型式補助1	TYPE1	1		
6	型式補助2	TYPE2	1	11	
7	定格	SPEC		11	
8	定格辅助1	SPEC1	1	11	
9	定格補助2	SPEC2		11	
10	定格補助3	SPEC3		11	
11	定格辅助4	SPEC4	1	11	
12	定格辅助5	SPEC5	1	11	
13	定格辅助6	SPEC6	1	11	
14	定格補助7	SPEC7	1	11	
15	部品表転記用定格	BOMSPEC	1	11	
16	部品名	DEVICE	1		
17	部品名補助1	DEVICE1	1	-	

2.右図は「端子表設定」タブを表示しています。

	5/14	*-	 		
1	2417ル	家示		H.	上に移動
2	DX	2			
3	DY	1			下に移動
4	DZ	1			
5	種別1(配線余長)	1			
6	種別2(端末処理)	V			
7	種別3(コネクタ=1)	×			
8	種別4(向き=T/B/L/R)	1			
9	種別5(上下=U/D)	1			
10	種別6(コネクタ器具番号)	1			
11	種另17	1			
12	種另18	1			
13	種另19	1			
14	種別10				
15	種別11				
16	種別12				
17	種別13				
18	種別14	-		•	

3.右図は「付属品表設定」タブを表示しています。

各種設定の操作手順につきましては、1-2-3.製 品別参照マニュアル一覧 P5 参照の上、該当 マニュアルをご確認下さい。

😽 部品マスタ設定	— ×
部品表設定 端子表設定 「村属品表設定」	1
タイトル 1 グルーブ名称 2 行構品コード 3 数量	上に移動
登録 キャンセル	

3-3-3.環境設定の確認

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-Parts]-[環境設定]を選択し ます。

ACAD-Parts 環境設定ダイアログが表示されます。

物件(図面)情報抽出のための、表示項目の設定 を行います。

2.[ファイルスタイル設定(F)]をクリックすると、ファイル スタイル設定が表示されます。

3.部品表または、発注書などのスタイルを設定します。

図は提供サンプル"PartsTable"の設定内容を表示しています。

ピン	グテーブル(M) A	CAD-DEN	KI		
5.H.J	長 対象 分類項目	単位数量	集約項目	ソートは	【約) 表示項 🕯
	表示名		表示	•	ト(:移動(1))
1	盤No.				
2	装置ユニットNo.		v		下(:移動(D)
3	器具番号		v		
4	部品コード		V	=	C B L (a)
5	対応電気シンボル				最上段(T)
6	対応器具シンボル		~		
7	型式		~		最下段(B)
8	定格		~		
9	部品表転記用定格		~		
10	部品名		~		
11	部品表転記用部品名		v		
12	リレー型式				
13	メーカー		~		
14	価格1		~		
15	価格2				
16	価格3				
17	重量				
18	形状(幅)		~		
19	形状(高さ)		~		
20	形状(奥行き)		V		
21	備考1				
22	備考2				

	Ē					フォーマット設定
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	項目 NAME CODE SPEC TYPE MAKER BOMCOUNT BAN,NO INST,NO INST,NO INST,NO BOMSPEC DEVICE BOMPCVICE BOMPCVICE BOMPCVICE BOMPCVICE BOMPCVICE BOMPCVICE BOMPCVICE BOMPCVICE	表示名 器具書号 部品コード 定格 型式 メーカー 対理 燃No が最重記の形式 が見受い形し、 対応器見シン形し、 対応器見シン形し、 が高品表載記の用容 部品表載記の用容 部品表載記用定格 部品者 形式(編) 形式(集)であっ 形式 型式 たん、 の に 体格1 形式 の に 低格1 形式 の に 低格1 形式 の に の の し の の の の の の の の の の の の の	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	* []	上に移動(U) 下に移動(D) 最上段(T) 最下段(B) 空白行(D	・ ひんゆう (加小の) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10,00) (10
						その他

3-4. ACAD-Net

ACAD-Netの設定内容について説明します。

3-4-1. 設定項目の確認

設定する項目は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Net]以下です。 Windows 8 の場合、デスクトップの「アルファテックランチャー」内にあります。



ACAD-Net の管理ツールでは以下のことを行います。 ■環境設定(<u>3-4-2.環境設定</u>)

各種設定の操作手順につきましては、<u>1-2-3.製品別参照マニュアル一覧 P5 参照</u>の上、該当マニュアルをご 確認下さい。

3-4-2. 環境設定

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-Net]-[環境設定]を選択しま す。

ACAD-Net 環境設定ダイアログが表示されます。



<<このページは白紙です。>>



ACAD-DENKIを運用するにあたり、必要となる設定を説明します。

・ACAD-DENKIの図枠(環境)・シンボル保存庫について

・電気専用のコマンドを使用するにあたっての準備

4-1. 図枠

ACAD-DENKIの図枠種類・情報について説明します。

4-1-1. 図枠について

【図枠の持つ情報】

ACAD-DENKIで作成・編集された図枠には以下の情報が登録されます。

- ■図題情報
- ■電気用/その他用(図面種類)の区別情報※
- ■アドレス情報
- ■その他(用紙サイズなど)

※図枠は2種類(電気図枠、その他図枠)に大別しています。

■電気図枠 :展開図

線番処理やリレー処理などの電気特有の自動処理の対象。 ■その他図枠 :電気図枠以外。配置図、実装図、表紙、目次、部品表など

電気特有の自動処理の対象になりません。

※登録図枠は[電気編集]-[ACAD DENKI 環境設定]の
 「図枠」-「プロジェクト登録」で確認します。

電気用/その他用図枠として登録されてい ます。

第 その他用	
· ·	
	-
✓	-
×	_
I	
·	

【プロジェクト登録】

ACAD-DENKIで新規ページを作成する場合、必ず「環境設定」-「プロジェクト登録」でチェック印の付いた図枠を使用します。

設定先が異なる端末や他社で作成された図枠(ACAD-DENKIで作成)を受け取られる場合は、環境管理のインポート/エクスポート機能を使用して図枠データの受け渡しを行います。

まれに、電気用・その他用の指定がされていない図枠があります。その場合、上記の「プロジェクト登録」画面で 適切な種類にチェックを設定してください。

4-1-2. 図枠の保存先

図枠作成で図枠を登録すると、環境の作成先(2-3.場所の確認と一括変更参照)に図枠 DWG ファイルと図 枠情報ファイルがセットで格納されます。(下記拡張子ファイル)

■DWG(図枠図面)ファイル

■WAK(図枠の情報)ファイル

※ACAD-DENKIで図面を作成する上では、オペレータが環境の作成先などを意識する必要はありません。

4-2. シンボル

シンボルの種類・保管先について説明します。

4-2-1. シンボルの種類

シンボルは、その用途によって格納されるパスが分かれています。 下の表はシンボルの種類/用途別の格納パスと、それぞれのシンボルを登録・修正するコマンドです。

表 2:シンボルの種類とパス

シンボルの種類	格納先/シンボルを登録・修正するコマンド
ー般のシンボル (コイル・接点・電気図・ロジッ ク・盤図など)	 ■格納先 シンボル庫(2-3.場所の確認と一括変更参照) ユーザが任意にフォルダを作成し、用途ごとに分類して管理することができます。 ■登録修正するコマンド [シンボル]-[シンボル登録]で登録します。 「シンボルパレット」-「図面を開いて修正」で修正・流用登録します。
システムシンボル※ (線番・端子・交点マークな ど)	 ■格納先 環境の作成先(<u>2-3.場所の確認と一括変更参照</u>)以下 ■登録修正するコマンド [シンボル]-[システムシンボル登録]で登録・編集します。 標準提供シンボル削除不可
リレー型式シンボル※ (器具展開表・[型式/汎 用])	 ■格納先 環境の作成先(<u>2-3.場所の確認と一括変更参照</u>)以下 ■登録修正するコマンド [シンボル]-[シンボル登録]で登録・編集します。 もしくは[リレー]-[展開表データ作成]で登録・編集・削除します。

※提供シンボルが環境先に無い場合は、インストール先にあります。

4-2-2. シンボル庫

一般シンボルの保存先について説明します。

<u>ACAD-DENKIで</u>更新・置換するシンボルはシンボル庫の作成先フォルダ(2-3.場所の確認と一括変更参照) 直下にある「SEARCH.lst」ファイルで管理されています。

■ACAD-DENKI 新規インストール(作図パック)後の「SEARCH.Ist」の記述

※ACAD-DENKI でインストールされるシンボル庫以下のフォルダがすべて記述されています。
 IOPat¥
 IOSym¥
 IOSym¥IN¥
 IOSym¥OUT¥
 SAMPLE¥

4-2-3. シンボルパレットの表示について

シンボル庫以下に新たなシンボルフォルダを追加された場合、また、シンボル庫以下のフォルダを削除された場合、シンボルパレット表示はリアルタイムに更新されません。 シンボル庫以下のフォルダを編集された場合、「シンボル]-「シンボルサーチリストの更新]を行ってください。

SEARCH.Ist に新たなフォルダを追加、また、実在しないフォルダを削除します。

サーチリストに登録されていないシンボルフォルダは、シンボルを検索するときなどに検索対象外となります。

4-2-4. シンボル庫の共有

※シンボル庫を共有する場合は、シンボル庫の作成先のフォルダを指定します。
 (2-3.場所の確認と一括変更参照)
 シンボル庫例: C:¥User¥Public¥Documents¥Alfatech¥ACAD-DENKI¥Symbols
 上記の場合、「Symbols」を共有指定。

共有例

サーバの「C: ¥ ACAD ¥ ACAD-DENKI ¥ Symbols」にシンボルがあり、仮想ドライブを「Z: ¥」にする場合を例としています。

サーバの「C:¥ACAD」を端末のネットワークドライブ「Z」ドライブに割りつけます。

※ドライブ名は各端末で共通にします。

この場合のシンボル庫の作成先は、以下のようになります。 (2-3.場所の確認と一括変更参照) 「シンボル庫: Z:¥ACAD-DENKI¥Symbols」

4-3. 線番の準備

ACAD-DENKIでは、各種の線番配置コマンドを使用して配線に線番シンボルを配置します。 そして、配線の情報(線番・線種・線色などの電線情報)は線番シンボルに付加されます。 そのため線番シンボルには、情報を持つ上でのルールが必要となります。 線番値のルールと線番の情報を決定する方法、および線番シンボルの修正・追加方法について説明します。

4-3-1. 線番について

線番はコマンドごとに作成し、設定することができます。 ACAD-DENKI 線番コマンド ■母線線番 ■主回路線番 ■番順入力 ■個別線番 ■バスライン線番 ■自動線番 ■I/O 線番 それぞれに、縦配線用/横配線用の線番を用意します。(線番シンボルは共通でも可)

例:個別線番コマンドで、縦配線/横配線に線番を入力した例(実際のシンボル.dwg)

【縦配線用】

図面入力シンボル

(ACAD-DENKI: Senban.dwg)





【横配線用】

図面入力シンボル

(ACAD-DENKI: Senban.dwg)





4-3-2. 線番の持つ情報(電線情報)

線番には以下の情報が含まれています。 ※線番値

属性	名称	属性	名称
SENBAN	線番 ※	SNAME	信号名称 1
SENBAN0-	接頭線番	SNAME2	信号名称 2
SENBAN1	接尾線番	DUCT	別ダクト
SENSYU	線種類	PEA_NUM	ペア数
SENSIZE	電線サイズ	WIRE_0RDE	R グループ識別内順番
SENC0L0R	電線色	SENDISP	表示用電線情報
SENZAI	線材	CAPCOLOR	端末キャップ色
STYPE	線番区分	BRANCH	接続先
V0LT	電圧	CBL_PEA_N	U ケーブルペア数
AMP	電流	CBL_WIRE_0)R ケーブルグループ識
KUBUN	回路区分	DER	別内順番
P0LE	極性	CABLER0U	TE ケーブル経路





※提供線番シンボルの電線情報の内、属性の SENBAN(名称:線番)/SENDISP 以外は非表示設定になって います。

4-3-3. 電線情報-設定

電線情報の設定と編集について説明します。 電線情報の編集の前に、[配線]--[電線情報]--[設定]で線番の付加情報を設定する必要があります。 下図は「パターン名:三相誘電 1.5KW 動力 AC200V」の設定内容を表示させたものです。

線番に付加する情報をパターンとして登録すると、電線情報の付加が簡単に行えます。

また、共通設定として[システム共通設定][プロジェクト設定]を登録することもできます。

🔀 電線情報設定	
パターン名 ■相振電15K%約7AC200V ■相振電2K%約7AC200V ■相振電37K%約7AC200V 日相振電37K%約7AC200V 日相時代入口ン集色-35 V示売ー25 V示色ー25 V示色ー25 V示色ー2 V示色ー25 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色ー2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示色-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示合-2 V示	設定 パターン名 三相話電1.5KW動力AC200V 電線情報名 設定値 1 線程質 IV 2 電線サイズ 1.25 3 電線色 黒 4 電圧 AC200V 5 回路区分 動力回路 6 電流 8A 7
高振 ○K ○K ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ </td <td>一適加 置換 削除 システム共通設定 プロジェクト設定</td>	一適加 置換 削除 システム共通設定 プロジェクト設定

[システム共通設定]

線番シンボルの属性に与えるデフォルト値を設定します。 システム共通設定は、プロジェクト設定されていない時のデフォルト設定になります。 また、システム共通設定は"Default"以外に、別名で複数の設定を登録することができます。 (通常は、システム共通設定のみを使います。)

システム共通設定	— ×
設定名 Default	▼ 呼出 削除
配線名称	パターン 🔺
標準	IV黄色-1.25
太線	IV黒色-3.5
外部線	
母線	IV黄色-2 目
アース線	接地線IV緑色-2
盤枠内配線	
ACAD-IO用配線	
ACAD-PLCLink用配線	
ユーザ定義配線(1)	
保存	戻る

[プロジェクト設定]

プロジェクト設定は、現在開かれているプロジェクトだけが対象になります。 プロジェクト設定が有効な場合、システム共通設定の情報は無効となります。 (右図は、設定されていない状態:初期値) プロジェクト設定

		_
プロジェクト設定		x
設定名 現在のプロジェクト設定	▼ 呼出 削除	
	パターン	*
標準	ſ	
太線		
外部線		
母線		=
アース線		
盤枠内配線		
ACAD-IO用配線		
ACAD-PLCLink用配線		
ユーザ定義配線(1)		_
		÷
	F	
保存	23	

※設定方法につきましては、「ACAD-DENKI コマンドヘルプ」をご参照ください。

4-3-4. 電線情報-編集

[配線]-[電線情報]-[編集]で、選択した図面(範囲)の線番に電線情報を付加させます。

例:ACAD-DENKI「サンプル図面:C1.dwg」内の線番に電線情報を付加

1.[配線]-[電線情報]-[編集]を選択します。

「範囲を選択」とし、[実行]します。

2.電線情報を付加する線番を範囲選択します。

🔼 電線情報編集	—
範囲を選択	•
実行	キャンセル

3.右図のようなダイアログが表示されます。

線開報編集							
11.5KW動)力AC200V		- /?!	ターン適用	Defa	ult 🛛 🔻	
ページ	配線名称	線番	線種類	電線サイズ	電線色	回路区分	グループ
C1	標準	01	IV	1.25	黄		
C1	標準	02	IV	1.25	黄		
C1	標準	03	IV	1.25	黄		
		m					٠

✓ パターン適用 Default

実行 キャンセル

ページ 配線名称 線番 線種類 電線サイズ 電線色 回路区分 グループ≦ ▲ 標準 01 V 1.25 星 動力回路 標準 02 IV 1.25 星 動力回路 標準 03 IV 1.25 重

3 電線情報編集 三相誘電1.5KW動力AC200V

表示設定...

4.右図は以下のような入力をした例です。

1 行目/2 行目:[パターン適用]

3 行目 :[Default]

※この場合、[Default] には [システム共通 設定] の [Default] 値が入力されていま す。

4-3-5. 線番シンボルの編集・追加

線番シンボルの編集と追加方法を説明します。

線番シンボルは[シンボル]-[システムシンボル登録]を使用して編集・追加します。 作成例

提供シンボル「Senban.dwg」を流用して新たな線番シンボルを追加します。

■編集内容

縦配線に水平に線番値が表示されるようにします。 電線情報:電線サイズを表示するようにします。

【操作手順】

1.[シンボル]-[システムシンボル登録]を選択します。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

(種別:線番シンボルは初期表示です)

線番シンボルを追加しますので、今回は「種別」を 変更しません。

2.シンボル名から、シンボルを選択します。

種別 :線番シンボル シンボル名:Senban

3.[編集]ボタンをクリックします。

🝌 システムシンボル登録	
種別	
線番シンボル	▼
シンボル名	ブレビュー
Senban Senban1 SENBANG	「「「「「」」」」 「「」」」 「「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「」 「」」 「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 」 「」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 <
編集	除 キャンセル

4章.ACAD-DENKI

システムシンボル登録ダイアログが表示され、 Senban.dwgが開き、シンボルが編集できる状態 になります。



SENBANO-1 SENBER MEAN

システムシンボル登録

属性配置 登録 キャンセル

4.シンボル内の文字を編集します。

右図は編集例です。

「SENBAN0-1」「SENBAN」 「SENBAN」文字(回転:0°)

※VOLT,AMPは非表示設定のままですが気 になる場合は、任意の場所に移動します。

「SENSIZE」:移動(右図参照) 文字基点:右寄せ 画層 :SENSIZE(*)

> (*)画層「SENSIZE」を追加して、その画層に「SENSIZE」文字を移動します。 (画層名に決まりはありません。上記はわかり易く画層名を作成した例です。)

5.[登録]をクリックします。

6.システムシンボルの保存ダイアログが表示されます。

追加しますのでシンボル名を変更します。

シンボル名 : Sample-Senban

7.[保存]をクリックします。

※名前を変更せずに[保存]すると既存ファイ ルに上書きします。

8.シンボル保存の確認ダイアログが表示されます。 [OK]をクリックします。

これで、新たに線番シンボルが追加されました。



SENZAI

PEA NUM GRP_TODE WIRE_ORDER 

4-3-6. 電線情報表示画層の設定

「4-3-5.線番シンボルの編集・追加」でシンボル内に追加した「SENSIZE」を表示させるための設定を行います。

【手順】

- **1.**[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択 します。
- **2.**ACAD-DENKI 環境設定の[画層]-[画層コント ロール]を選択します。
- **3.**接続図標準の「表示層」に「SENSIZE」を追加し ます。
- 4.[登録]をクリックします。



4-3-7. 線番シンボルの設定

「<u>4-3-5.線番シンボルの編集・追加</u>」で追加した線番シンボルを「個別線番入力」コマンドの縦配線用に設定を 変更する手順を説明します。

【手順】

- **1.**[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択 します。
- **2.**ACAD-DENKI 環境設定の[線番]を選択します。
- **3.**「線番処理で使えるシンボルを設定」の 「SAMPLE-SENBAN」の「縦配線用」にチェックを 入力します。
- ACAD-DENKI 環境設定 × 項目(C) 39.15 ・プロジェクト 線番処理 記線 □ サブネット単位で線番処理を行なう (「外部(コネクタ)端子で分割されたネットも同一線番として処理する」設定は無効です) 泉番 母線線番 □線番値重複チェックは、図題の盤No情報が同じページグループで行なう 個別線番入力 □ 外部(コネクタ)端子で分割されたネットも同一線番として処理する 主回路線番 ■線番値の大文字/小文字を区別する 線番順入力 バスライン線番 線番処理で使えるシンボルを設定 自動線番 縦配線用 横配線用 I/O線番 シンボル名 SENBAN リアルタイム線番チェック SENBAN: -シンボル SENBAN1 - 雨性 SENBANG SAMPLE-SENBAN · 文字 - 画層 - 図面チェック 別盤 . 装置ユニット 通用(A) OK *+>ンセル
 - ※この設定欄には、システムシンボル登録で、 「種別:線番シンボル」として登録した線番 シンボル名が表示されます。

4.[適用]をクリックします。

├線番処理で使えるシンボルを設定―

		シンボル名	縦配線用	横配線用		*
	1	SENBAN				
	2	SENBAN2	1			н
Γ	3	SENBAN1		M		н
	4	SENBANG				E
	5	SAMPLE-SENBAN	2			
						-
						Ŧ
ŀ	(Þ.	

4章.ACAD-DENKI

5.[個別線番入力]を選択します。

6.線番シンボル「縦配線用」の右側[▼]をクリックして線番を変更します。

選択:SAMPLE-SENBAN

7.[OK]をクリックします。

これで、設定の終了です。

項目(C):		個別線番入力					
 ⑦ フロジェクト ● 記録 ● 緑希 ● 母線線垂 ● 田島線線垂 ● 北京部 ● 北京部 ● 北京部 ● パンボル ● 文ンボル ● 常性 ● 文ン ● 四 ● 四 ● 別域 ● 別域 ● 別域 ● 別域 ● 見載 2.2.>ト 	E	線番シンボル 縦2024年用(V) 検配2線用(H)	SENBAN SENBAN SENBAN2 SAMPLESENBA	5 N	5		-

【個別線番入力例】

S001	S002	A001	

【線番情報入力例】

「画層:SENSIZE」が表示に設定されていますの で、線番情報が入力されると線サイズが表示され ます。

S001	S002	A001	
1.25mm2	1.25	1.25mm2	

4-4. 渡り線処理実行の準備

渡り線処理とアドレス表記について説明します。

4-4-1. 渡り線処理

「渡り線呼合実行」コマンドは、配線端に配置した渡り線 From(1:N もしくは 1:1)シンボル、To シンボルに呼合 情報を自動記入するコマンドです。

呼合相手としては、同一呼合符号値を持つ渡り線シンボル同士を優先し、呼合符号値を持たない場合は同 一線番値を持つ渡り線シンボル同士とします。

呼合ルールは、大きく分けて"1:N 呼合ルール"と"1:1 呼合ルール"の2つがあります。

■設定確認

1.[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択 します。

2.[渡り線]-[呼合ルール]を選択します。

項目(C):	呼合ルール	
① 文字 ・ ● 画写 - ● 画写 - ● 回動チェック - ● 防動チェック - ● 装置 2ット - ● ジレー - ● ジレー - ● 「日本	EN4F合のみをサポート(N) IN4F合のよりポート(N) From(14)シンボルにてったンボル(例稿紙, Toシンボルにたい(N)価値額を起入するが、 Toシンボルに下om(14)シンボル(個値額を起入するが、 Toシンボルに下om(14)シンボル(個値額を起入するが、 Toシンボルにてっか、水ル倒積額を起入するが、 Toシンボルにてっか、水ル倒積額を起入するが、 Toシンボルにてっか、水ル倒積額を起入するが、 Toシンボルにたっか、水し倒積額を起入するが、 Toシンボルにたっか、 Toジンボルにたっか、 Toジンボルを加いたい。 Toジンボルを加いたい Toジンボルを加いたい。 Toジンボルを加いたい Toジンボル Toジン Toジンボル Toジン	

1:N 呼合ルール

(呼び合い例)

From 側シンボルとして

[From(1:N): FromP.dwg]を使用します。

To 側シンボルは[To.dwg](I:N/1:1 共通)を使用します。

1:1 呼合ルール

(呼び合い例)

From 側シンボルとして

[From(1:1): From.dwg]を使用します。

To 側シンボルは[To.dwg]

(1:N/1:1 共通)を使用します。



ページ:001 → ^P 002-1A
ページ:002 001-1G≯
ページ:002
ページ:003 002-1Gチ

4-4-2. 渡り線アドレス表記

渡り線の呼合いアドレス表記方法にはページとシートの2通りがあります。

■設定確認

1 .[電気編集][ACAD-DENKI 環境設定]を選択	III ACAD-DENKI 環境設定		×
1.++	項目(C):	呼合アドレス	
しよす。 2.[渡り線]-[呼合アドレス]を選択します。	 ○文字 ● 画層 ● 図面チェック ● 別は ● 装置ユニット ● リレー ● 図枠 ● 男の湯 ● 弾合計幅(アドレス)位置 ● 叩合情幅(形然先部品)位は ● 吓合情幅(形) ● 叩合情幅(形) ● □ ●	アドレス表記 ● ページ(ジート) + アドレス(1) ● 一 回面内ではアドレスのみ(2) ● ページ(ジート)のみ(3) ● アドレスのみ(4) ● 表記しない(5) ● アドレスの書式 前回定部(H) + ● ページ(P) + ● ジート(S) クレビュー ページ・アドレス * ● フ・アドレス	
		OK キャンセル 適用	.A)

4-4-3. 渡り線呼合情報位置

渡<u>り線用の</u>提供<u>シンボル</u>は「FromP.dwg(1:N 用/<u>1:N 呼合ルール P58 参照</u>)From.dwg(1:1 用/<u>1:1 呼合ルー</u> <u>ル P58 参照</u>)To.dwg」です。

渡り線で呼び合い処理を行ったときの文字情報位置は、シンボルを修正するのではなく設定で行います。

■呼合情報位置

1.[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択	項目(C):
します。	■·文字 ■·画層
	三 図面チェック

2.[渡り線]-[呼合情報(アドレス)位置]を選択しま す。

II ACAD-DENKI 環境設定		×
項目(C):	呼合情報(アドレス)位置	
文字 ・	情報表示 ② 情報を表示する(D) 画 聞を指定(L)	





4章.ACAD-DENKI

OK キャンセル 適用(A)

4.[渡り線]-[呼合情報(アドレス)位置]-[From(1:1)]を選択します。



5.[渡り線]-[呼合情報(アドレス)位置]-[To]を選 択します。

4-5. 配線グループ情報の準備

特殊配線に配線グループ情報を付加するための準備作業について説明します。

4-5-1. グループ情報とは

ACAD-Net(オプション)等の配線接続情報出力時に配線グループを明示する為の情報です。 その情報は、線番シンボル内の属性(グループ識別、ペア数)に自動記入されます。

グループ識別	グループ名	ツイスト形状の例	T0001
	+4 桁の追番号	シールド形状の例	S0001
		バスライン線番の例	B0001
ペア数	同一グループに属する配線数		

4-5-2. グループ情報を付加する設定

■設定確認

1.[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択 します。

2.[配線]を選択します。

[ロ配線グループ情報等を付加する]にチェックを 入力します。



-特殊配線-

[口配線グループ情報等を付加する]

上記を設定することで、特殊配線コマンド(ツイスト形状/シールド形状/バスライン)で配線グループ情報を自動 付加します。

■確認操作

1.配線を引きます。

2.線番を入力します。(右図の例では[線番順入力]を使用して、入力しています。)

※必ず線番を先に入力します。

3.[特殊配線]-[ツイスト形状]でツイストを入力します。

グループ情報を持つ線番は「固定(画層: CSENBAN)」になります。

4.[属性/文字]-[属性編集]を選択し、線番を指示します。

001		
002		
003		

001	
002	
003	

4章.ACAD-DENKI

5.属性編集ダイアログが表示されます。	丛 属性編集 <senban1> 線番 [001] □ □ ■</senban1>
ロその他の属性	名称 表示 値 線番 ✓ 001 ✓ 接頭線番 □ ★ 接尾線番 □ ●
チェックを入力します。	1970日末秋 電線サイズ 電線色 線材 線板 な石区分
ペア数とグループ識別が確認できます。	電流 二 面路区分 二 極性 二 信号名称1 二
	別ダクト Image: Constraint of the second sec
	 □編末キャッフ中. ▼その他の属性(O) ● チェック時表示(1) ● 常に表示(2) 部品マスタ検索(B) 行追加・編集(M) OK キャンセル

×

4-6. 端子について

ACAD-DENKIには、いくつかの端子種類があります。 外部端子/中継端子/コネクタ端子などがあり、それぞれ、入力する方向(4 方向:上下左右)別に端子シンボル が存在します。

II ACAD-DENKI 環境設定

4-6-1. 別盤コマンドで自動発生する端子シンボル

別盤を作図すると、配線と別盤枠の交点に端子シンボルが自動発生します。 ここでは、自動発生するシンボルを設定する方法を説明します。

■設定確認

1.[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択 します。



2.[別盤]を選択します。

「シンボル名」に自動発生させる端子シンボルを設 定します。

4-6-2. 端子シンボル配置

端子シンボルを個別に配置する時には、[外部端子配置][中継端子配置][コネクタ端子配置]を使用します。 ここでは、各端子シンボルについて説明します。

■外部端子シンボル



【提供シンボル】(初期値)

端子種類	^	V	<	>
OutCir/O形-枠線上、手配置	OutCir	OutCir2	OutCir3	OutCir4
OutCirU/O形-部品ユニット用	OutCirU	OutCirU2	OutCirU3	OutCirU4
OutFai/Φ形-枠線上、手配置	OutFai	OutFai2	OutFai3	OutFai4
OutFaiU/ 中形-部品ユニット用	OutFaiU	OutFaiU2	OutFaiU3	OutFaiU4

【ご注意】

OutCirU、OutFaiUのように"U"が付いているシンボルは、部品ユニット内に配置させることを想定し、個々の器具 番号が非表示(画層: PINOFF)になっています。

(部品ユニット内の個々の端子について器具番号を表示させると乱雑になるためです。)

■中継端子シンボル

1.[シンボル]-[端子シンボル配置]-[中継端子配 置]を選択します。

2.中継端子配置ダイアログが表示されます。

※中継端子シンボルを方向別で配置する場合は、「方向別のシンボルを配置する」にチェックを入力してください。

🔀 中継端子配置	
配置する端子 端子種類(T): [IntCir / 中心	枠線上、手配置 ▼
方向(自己側)(D)	属性値の転記(A)
ζ > ブレビュー	 ● 自己側(1) ● 相手側(2) ☑ 器具番号(N)
	2番目以降に配置したシンボルは 器具番号を非表示(H)
	♥ 端子番号(P)1
	カウントアップの方法(R): 10進数 -
	カウントアップ幅(S): 1
	🕅 端子番号をロック
□ 方向別のシンボルを配置する	配置実行 キャンセル

【提供シンボル】(初期値)

端子種類
InCir/中心枠線上、手配置
InCirU/中心-部品ユニット用
IntCirHol/中空-枠線上、手配置
IntCirHolU/中空-部品ユニット用

※「別盤指定」で中継端子を指定した場合は、外部端子などと同様に方向別の端子シンボルが必要です。

■コネクタ端子シンボル

1.[シンボル]-[端子シンボル配置]-[コネクタ端子配 置]を選択します。

コネクタ端子配置ダイアログが表示されます。

配置するシンボルの選択もここで行います。



【提供シンボル】(初期値)

端子種類	^	V	<	>
CnPs/2 ピンープラグ&ソケット	CnPs1	CnPs2	CnPs3	CnPs4
CnPsU/2 ピン-部品ユニット用 (プラグ&ソケット)	CnPsU1	CnPsU2	CnPsU3	CnPsU4
CnPs1P/1 ピンープラグ&ソケット	CnPs1P1	CnPs1P2	CnPs1P3	CnPs1P4
CnPs1PU/1 ピン-部品ユニット用 (プラグ&ソケット)	CnPs1PU1	CnPs1PU2	CnPs1PU3	CnPs1PU4
ConArw/2ピン-枠線上-手配置	CnArw1	CnArw2	CnArw3	CnArw4
ConArwU/2ピン-部品ユニット用	CnArwU1	CnArwU2	CnArwU3	CnArwU4
ConCir/1ピン-枠線上-手配置	CnArw1P1	CnArw1P2	CnArw1P3	CnArw1P4
ConCirU/1 ピン-部品ユニット用	CnArw1PU	CnArw1PU	CnArw1PU	CnArw1PU

※端子シンボルの編集・追加は[シンボル]-[システムシンボル登録]で行います。

4-7. リレー処理の準備

リレー処理を行うための準備について説明します。

4-7-1. リレー処理方法

ACAD-DENKIではリレー処理の方法として「型式処理、汎用処理」があります。 ※型式処理:アドレス情報・端子番号を処理して表示する場合に使用します。 汎用処理:アドレス情報のみ表示する場合に使用します。

■設定

1.[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]を選択 します。



2.[リレー]を選択します。

※汎用処理の場合はここで、「型式属性が 空の場合のデフォルト値」を設定します。



4-7-2. リレー展開表作成

【型式処理用のリレー展開表を作成する手順】

1.[リレー]-[展開表データ作成]を選択します。

展開表データ作成ダイアログが表示されます。

※右図は提供データ: MM4 を[読込]した表 示です。

- 2.展開表名を入力·変更し、接点行数/端子数を 決めます。
- 3.コイル/接点の設定を行います。
- 4. [保存]をクリックします。右図のような確認のダイ アログが表示されます。

※ここでは、STB データ(例:SAMPLE-MM4.stb)が保存されます。

5.[OK]をクリックします。

6.[次へ]をクリックします。器具展開表シンボル作成 ダイアログが表示されます。

7.編集する展開表シンボルを選択し、[次へ]をクリックします。







4章.ACAD-DENKI

8.選択したシンボル形状が作成した展開表名.dwg として開きます。	
シンボル登録ダイアログが表示されます。	
シンボルを編集し、シンボル登録します。	↓ スナップ間隔(S): 1.0 ・ BL1 6.注音構性の配置 少り>Pr間隔(G): 0 ・ ・ BL2
挿入基点を指定します。	6.登録 図登録的に設定を元に戻す(W) 設定(P) BL 5 同 (前へ(B) 次へ(M)) 開いる BL 5
	15 0 14 TBL5 b 6 TBL6 9 a 8 TBL7 b 7 TBL8 COIL 1 - 10 DTYPE TYPE BAN_NO SPEC
9. ファイルを選択ダイアログが表示されます。	
ファイル名:展開表名と同名称のファイル名が入 力	覧(L): 20_BASE.dwg 4CH2.dwg G2A-432A.dwg 2LY2.dwg 3-3nchsw.dwg 4CV1.dwg 56.c+12s.dwg 12.V3.dwg 3-3nchcsw.dwg 4CV2.dwg 56.c+12s.dwg 12.V3.dwg 3-3ncchcsw.dwg 4CV2.dwg 56.c+38.edwg 56.LV4.dwg
※保存場所は固定です。変更できません。	So_BASEdwe So So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So_Basedwe So So_Basedw
10. [保存]をクリックします。	General Childway Calendar Childway Calendar Childway Calendar Childway Calendar Childway Calendar Childway
	ファイル名(N): SAMPLE-MM4.dwg 保存(S) ファイルの種類(T): AutoCAD 図面 キャンセル
11.確認のダイアログが表示されます。	ファイルの保存
[はい]をクリックします。	② SAMPLE-MM4.dwg はすでに存在します。上書きしますか?
	(まい(Y) いいえ(N)

これで、展開表データとシンボルの作成が終了です。

※展開表データシンボルの保存先、各環境の作成先(2-3.場所の確認と一括変更参照)以下になります。 ※展開表データ STB と展開表データシンボルは必ず同名称にする必要があります。
【凡用処理用のリレー展開表を作成する手順】

1.[リレー]-[展開表データ作成]を選択します。

展開表データ作成ダイアログが表示されます。

2.「汎用」タブを選択します。

※右図は提供データ: 4A4B を[読込]した表示です。

3.展開表名を入力·変更し、接点行数/端子数を 決めます。

4.[保存]をクリックします。

右図のような確認のダイアログが表示されます。

※ここでは、STB データ(例:SAMPLE-4A4B.stb)が保存されます。**5.**[OK]をクリックします。

6.[次へ]をクリックします。

器具展開 表シンボル作成ダイアログが表示されます。

7.編集する展開表シンボルを選択し、[次へ]をクリ ックします。

2式 汎用	3					種別リスト	
展開表名	4A4B		▼ [読	这		コ1ル A接点 D塔点	Ē
赛点行数	8	r				C接点 オンディレイタイマA接点	
	種別	シンボル	ターミナルリレ	別器具番号	*	オンディレイタイマB接点 オンディレイタイマC接点	
コイル	зłй	RC01MVR				オフディレイタイマA接点	
サブコイル						オフェイレイタイマド接点	
接点1	A接点					オンオフディレイタイマム接点	
接点2	B接点					オンオフディレイタイマB接点	
接点3	A接点					オンオフディレイタイマC接点	
接点4	B接点					残留合接点	
接点5	A接点				=	75日D技品 穂切C線占	
接点 6	B接点					MCB補助A接点	
接点7	A接点					MCB補助B接点	
接点8	B接点					MCB補助C接点	
<	*重複をチェッ				•	MCB管理的基本 MCB管理的基本 基接点AF接点 主接点AF接点 对重主接点AF接点 对重主接点AF接点 对重主接点AF接点 对重主接点AF接点 对重主接点AF接点	





9.ファイルを選択ダイアログが表示されます。

ファイル名:展開表名と同名称のファイル名が入 カ

■ ファイルの保存			×
一覧(L):			
C_BASE.dwg	4CH2.dwg	🔄 G2A-432A.dwg	EY2.dwg
🔄 3-3nchsw.dwg	4CV1.dwg	🔄 g 7k - 4 12s.dwg	🔄 LY3.dwg
🔄 3-3nochosw.dwg	🔄 4CV2.dwg	🔄 h3cr-a8e.dwg	🔄 LY4.dwe
🚰 3C_BASE.dwg	🔄 4C_BASE.dwg	🚰 h3cr-on.dwg	imc2pv.dwg
🚰 4A4B.dwg	🔄 8CH1.dwg	🚰 h3cr.dwg	📉 mc3ph2.dwg
🚰 4C.dwg	🔄 8CH2.dwg	🚰 H3Y-2.dwg	imc3pv.dwg
Section 4 CH1.dwg	🚰 ca2dn44.dwg	🚰 H3Y-4.dwg	🔄 mcb3pv.dwg
۲ []			•
ファイル名(N): 声A	MPLE-4A4B.dwg		保存(S)
ファイルの種類(T): Au	toCAD 図面		キャンカフル

※保存場所は固定です。変更できません。

10. [保存]をクリックします。

11.確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックします。

ファイルの保存	83
? SAMPLE-4A4B.dwg はすでに存	在します。上書きしますか?
((はい(Y) いいえ(N)

これで、展開表データとシンボルの作成が終了です。

※展開表データシンボルの保存先、各環境の作成先(2-3.場所の確認と一括変更参照) 以下の「STB」フォルダになります。

※展開表データ STB と展開表データシンボルは必ず同名称にする必要があります。

4-7-3.リレー種別について

シンボル種		山、香即の夕竹	RELAY
別の名称	IDENI 馮注旭	リレー裡別の名称	属性值
コイル	SQ	主コイル	COIL
		副コイル	SUBCOIL
		切替スイッチ用ダミー	SW
		ユニット(※1)	UN
接点	SQ	A 接点(A)	-1
		B 接点(B)	-2
		C 接点(CACB)	-3
		オンディレイタイマ A 接点(TA)	-4
		オンディレイタイマ B 接点(TB)	-5
		オンディレイタイマ C 接点	-6
		(TCATCB)	
		オフディレイタイマ A 接点(TFA)	-7
		オフディレイタイマ B 接点(TFB)	-8
		オフディレイタイマ C 接点	-9
		(TCFATCFB)	
		オンオフディレイタイマ A 接点	-TGA
		(TGA)	
		オンオフディレイタイマ Β 接点	-TGB
		(TGB)	
		オンオフディレイタイマ C 接点	-TGC
		(TCGATCGB)	
		残留 A 接点(KA)	-KA
		残留 B 接点(KB)	-KB
		残留 C 接点(KCAKCB)	-KC
		MCB 補助 A 接点(XA)	-
		MCB 補助 B 接点(XB)	-2
		MCB 補助 C 接点(XCAXCB)	-XC
		MCB 警報 A 接点(AA)	-3
		MCB 警報 B 接点(AB)	-4
		MCB 警報 C 接点(ACAACB)	-AC
		王接点 A 接点(MA)	-5
		王接点 B 接点(MB)	-6
		2 極主接点 A 接点(M2A)	-7
		2 極王接点 B 接点(M2B)	-8
		3 極主接点 A 接点(M3A)	-9
		3 極主接点 B 接点(M3B)	-20
		4 極王接点 A 接点(M4A)	-2
		4 極王接点 B 接点(M4B)	-22
		<u>切換スイッナ A 接点(SWA)</u>	-23
		<u>切換スイッチB接点(SWB)</u>	-24
		切換スイッチ C 接点	-25
		(SWCASWCB)	
		切換スイッチ:ウンブ(SWL)	-26
		<u>切換スイッチ:多段(SWD)</u>	-27
		カムスイッチ(CSW)	-N

シンボル種別の 名称	IDENT 属性值	リレー種別の名称	RELAY 属性值
器具展開表	RTB	器具展開表	TBL
電気図	SQ		
ロジック	EL		
盤図	EQ		
機構図	PNL		
盤図(端子)	TERM		
端子台表	TSDH		

Ж1

リレー種別:ユニットについては、システムシンボル登録の"ユニット属性シンボル(コイル)"で作成してください。シン ボル登録の本項目は将来用です。

4-8. 環境設定

ACAD-DENKIのコマンドの設定は[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]で行います。[ACAD-DENKI 環 境設定]内で関連コマンドの設定を自社の運用にあった設定にします。

4-8-1. 環境作成先の確認

「ACAD-DENKI 環境設定」の内容は、各環境の作成先(2-3.場所の確認と一括変更 P23 参照)以下に登録されます。

「<u>2-3.場所の確認と一括変更</u>」で確認した結果を例とすると、「C:¥Program data¥Alfatech¥ACAD-DENKI ¥」以下です。

■環境の作成先以下の GUID フォルダは OS がユニークな値で自動的に作成します。

- ■環境下のファイルをユーザが意識する必要はありません。設定/登録/削除などの編集作業のほとんどは ACAD-DENKI コマンドで行えます。 環境下のファイルを直接開いての編集作業は行わないでください。 編集作業を行った場合、正常に動作しなくなる可能性があります。
- ■図枠やシステムシンボルなど、他社とデータの受け渡しをする場合も、[スタート]-[プログラム]-[Alfatech]-[管理 ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]で行います。

環境管理の操作は CD ¥ DOC 内の環境移行マニュアルをご参照ください。

■作成済みの環境をサーバーなどに変更する場合、「場所の確認と一括変更」で変更します。

下図のように「現在の場所から内容をコピーする」を選択して変更を行います。

臭 場所の	確認と一括変更	23
設定環境(C:¥Progra	D作成先: mData¥Alfatecb¥ACAD=DENKI	
」 シンボル庫	🖵 場所の一括変更 - 設定環境の作成先	— ×-
C:¥Users	現在の場所: C:¥ProgramData¥Alfatech¥ACAD-DENKI	
C:¥Users	変更後の場所(L): Z:¥Environments	
	変更後の構成 ◎ 現在の場所から内容をつビーする(C)	
	◎ 場所を変更するだけで内容はコピーしない(E)	
		OK キャンセル

4-8-2. システムシンボル関連の環境設定

[電気編集]-[ACAD-DENKI 環境設定]で表示される ACAD-DENKI 環境設定ダイアログ内でシステムシンボ ルを設定する設定画面です。 ここでは、それぞれのシンボルの設定がどの項目にあるかを表記しています。 その他の設定の内容につきましては、コマンドヘルプをご参照ください。

■交点マークの設定画面



- ■使用する線番シンボルの設定画面 システムシンボル登録で登録された 線番シンボルが表示されます。
- ※母線線番/個別線番入力/主回路線番 入力/線番順入力/バスライン線番/自動 線番/I/O線番では、ここでシステムシンボ ル登録されたシンボルが選択できます。



■線番設定の画面 [母線線番]

II ACAD-DENKI 環境設定					×
項目(C):	母線線番				
	線番シンボル 縦配線用(V) 横配線用(H)	(SENBAN	ОК	(年かンセル)	▼ ▼ 逾用(A)



[主回路線番入力]



[線番順入力]











■呼合情報(アドレス)位置渡り線シンボルの呼合情報を表示する位置を設定します。

(_

	ACAD-DEINKI 操現設定	
	項目(C): 呼合情報(アドレス)位置	
呼合情報位置以下の [From(1:N)][From(1:1)][To]設定ダイア ログでそれぞれ設定します。		適用(A)

[From(1:N)]

上向き/下向き/左向き/右向き方向 について、それぞれ位置の設定をします。

文字設定は各向き共通です。





[To]

上向き/下向き/左向き/右向き方向に ついて、それぞれ位置の設定をします。

文字設定は各向き共通です。



<<このページは白紙です>>



電キャビのパスの設定、目次作成・履歴設定を運用する前の準備について説明します。

5-1. 電キャビの運用について

電キャビを運用する前の準備を説明します。

5-1-1. 運用前に

・運用するデータベースの種類を決めます。 マイデータベース:端末台のみで電キャビを運用 共有データベース:数台の端末で電キャビのデータベースを共有する運用 共有データベースをご使用になる場合は、先に専用のデータベース(SQL Server,Oracle)をインストールしてください。[関連:<u>3-2-4.接続設定の確認]</u>) 詳細は「データベース接続設定マニュアル」をご参照ください。

・階層設定(2-3.場所の確認と一括変更参照)を設定します。

階層設定で行う設定

階層数 :電キャビで管理する基点フォルダ以下の管理フォルダ階層の設定を行います。 設定の編集:ACAD-DENKIで登録されている図題・図枠情報の登録/スケール/図枠転記設定/アプリケーションの登録などの設定を行います。 製品の選択:電キャビから起動する製品環境の関連付け設定を行います。 起動設定 :電キャビから図面を開く場合のスクリプトカスタマイズを行います。 ※AutoCAD、BricsCAD コマンドを熟知されたユーザ向けの設定です。 通常はデフォルトのまま使用してください。

※各設定方法は、「電キャビオンラインマニュアル」をご参照ください。

5-1-2. フォルダ階層と情報

電キャビで管理するフォルダ階層数とフォルダの情報(プロパティ)を決めます。

※フォルダ階層とは

電キャビではボリューム(図面庫)以下にフォルダを作成してツリー状で管理します。 そのツリー上で管理される各階層を"フォルダ階層"と表現しています。 情報(プロパティ)の統一管理を行うために、ボリューム(図面庫)以下のフォルダ階層の数は固定で管理します。

【フォルダ階層と情報を考案する一例】

1)図面を管理するための分類を決めます。

例:ユーザー製番ー物件(図面を保存するフォルダ)

2)フォルダ階層を決めます。

1)の例の場合"ボリューム+3 階層"となります。(<u>表 3:フォルダ階層作成例</u>:参照)

3)「階層設定」を設定します。

4)電キャビを起動し、実際にボリューム以下のフォルダ構造を作成します。

作成方法につきましては、「電キャビオンラインマニュアル」および「トレーニングマニュアル」をご参照ください。

表 3:フォルダ階層作成例

基点フォルダ	1 階層目 (年度)	2 階層目 (製番)	3 階層目 (物件名)	図面
ABC 工業	2008 年	01-0001	A 物件	*.dwg
(3 阳眉官庄)			B 物件	*.dwg
		01-0002	A 物件-1	*.dwg
			B 物件−1	*.dwg
	2009 年	01-0001	A 物件	*.dwg
			B 物件	*.dwg
		01-0002	A 物件-1	*.dwg
			B 物件−1	*.dwg
		02-0001	C 物件	*.dwg
	標準図面庫	00-0000	物件	*.dwg
基点フォルダ	1 階層目 (仕掛/標準)	2 階層目 (製番)	図面	
DEF 設計	仕掛図面庫	SEIBAN	*.dwg	
(2 陌眉官理)		SEIBAN1_改訂	*.dwg	
	標準図面庫	SEIBAN0	*.dwg	

例:上記フォルダ構成を実際に電キャビで作成した構成例です。 (共有データベースを使用した例です。)

健康キャビ ファイル(F) 編集(F) 表示(V) ツール(T) ヘル	プ(日) オプション(() ACAD-Net(N) A	CAD-Parts(P)	-				
DENCABI8								
	ボリューム名	基点パス	階層設定					
□□□ 01-0001	 ■ ABC工業 ■ DEF設計 	C:¥Users¥Public¥Dc C:¥Users¥Public¥Dc	3階層 2階層					
B物件								
□□□ 01-0002 □□ A物件-1								
—————————————————————————————————————								
e- <u>0</u> 2009年 e- <u>0</u> 01-0001								
- <u></u> A物件								
□□□ B初件 								
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
⊕- ● 標準図面庫								
SENBAN1								
 B-□ 標準図面庫 								
レディ				0 個のオブジェクト				

5-1-3. 電キャビツールバーの表示方法

ACAD-DENKI/電キャビをインストールしたデフォルトの状態では電キャビのツールバーは表示されていません。電 キャビの[目次テンプレート作成][履歴管理編集][履歴設定][履歴欄の作成]は電キャビツールバーのアイコンか ら起動します。

1.ACAD-DENKIを起動します。

2.ACAD-DENKI 画面でツールバーアイコンの無い 場所を右クリックします。

[ACAD-DENCABI]-[電キャビ]を選択します。

3.電キャビツールバーが表示されます。





5-2. 目次作成

ここでは、電キャビで目次作成を行う前の準備について説明します。 ※ここでいう目次とは、物件内の目次図面です。

5-2-1. 目次作成の運用について

■準備

目次を作成するベースとなる図枠を「階層設定」の「図種・用紙」タブに登録します。 電キャビでボリューム以下のフォルダ構成を登録します。 目次テンプレートを作成します。(<u>5-2-2.日次テンプレート作成</u>参照) 目次作成の設定を行います。(<u>5-2-3.日次作成の設定</u>参照)

■ルール

目次テンプレートは目次用の図枠(図種:その他図枠)で作成します。 ※一般図面で使用している図枠は選択しないで下さい。 ここで選択した図枠を使用しているものをすべて目次だと判断します。 目次はプロジェクト単位で作成します。 ファイル名「0」は目次作成の対象外(表紙扱い)です。 フォルダ内の最初の空き番号に作成されます。

5-2-2. 目次テンプレート作成

目次作成を行うためには、目次の元となるテンプレートを用意しておく必要があります。ここでは、目次テンプレートの作成例を説明します。

【作成手順】

1.ACAD-DENKIを起動します。

2.電キャビツールバーの[目次テンプレート作成]を選 択します。目次テンプレート作成ダイアログが表示 されます。

※ダイアログ初期表示は、「新規にテンプレー ト作成」が選択されています。

ここで表示される図枠名称は、ACAD-DENKIの プロジェクトに登録されている「その他図枠」のみで す。

3.図枠を選択し[OK]をクリックします。

選択した図枠が開き、目次の項目を設定する、 目次テンプレート作成ダイアログが表示されます。

電井	ਾビ □ ■ √							
	目次テン	プレー	卜作成					
🔥 目次テン	ップレート	作成		×				
元図枠を選	訳してくださ	50						
		€ 新規(∂ 成	テンプレート	を作				
盤図用A2 ²	」 横 <abc_a< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></abc_a<>							
盤図用A2横 <saba2h> 盤図用A3横<saba3h> 目と用A3横<saba3h></saba3h></saba3h></saba2h>								
表紙用A3	横 <sacove< th=""><th>r></th><th></th><th></th><th></th><th></th></sacove<>	r>						
	OK	× 1						
	ОК		キンセル]				
A 目次テンプレート	OK \作成		キンセル]				
Δ 目次テンブレート 日次表枠名	OK Yfr成		=+>±U]	_	X		
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ОК -//fbt I 8.0	〕 【 *	³ ♥	 枠高さ	8.0			
 A 目次テンプレート 目次表枠名 タイトル枠高さ タイトル文字高さ 	OK /作成 1 8.0 4.0	項目数行数	* * 25 ↔	 や高さ 画層	8.0 0	×.		
 A 目次テンプレート B次表枠名 A/レ内や高さ A/レルや高さ A/レルです高さ A/レルな構 	OK 作成 1 8.0 4.0 0.8	項目数行数	* * 25 *	や 高さ 画 層	8.0 0			
A 目次テンプレート 日次表枠名 タイトル枠高さ タイトルな学高さ タイトル縦横比	OK 作成 1 8.0 4.0 0.8	項目数 行数	* * * * * * * * *	件高さ 画層	8.0 0	 ▼ 		
→ 目次テンプレート 目次表枠名 タイトルな宇高さ タイトル縦横比 タイトル	OK //ERX 1 8.0 4.0 0.8 1 No.	項目数 行数 タイトル	*アンセル 3 金 25 金 22 シート#	株高さ 画層 2号	8.0 0	 ▼ 		
 ・ ・ ・	OK 「 1 8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイル)を	項目数 行数 タイトル タイトル	* アンセル 3 (小) 25 (小) 2 シート 5 シート 5 シート	枠高さ 画層 2号 2号	8.0 0	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		
 A 目次テンブレート B次表枠名 A小小枠高さ A小小小枠高さ 	OK 「 1 8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイル名)	項目数 行数 分付ル 5.00	* * * * * * * * * * * * * *	枠高さ 画層 2号 こう よのの	8.0	-		
入目次テンブレート 日次表枠名 タイトル本高さ タイトルな満比 タイトル 管理項目 セル幅 文字高さ 窓槽地	OK 作成 [8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイルを	項目数 行数 シータイトル 5.00 9.80	3 25 2 2 2 2 3 3 3 4 2 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 - - - - - - - - - - - - -	枠高さ 画層 2号 2号 マラ 30.00 4.00 080	8.0	· ·		
→ 目次テンプレート 目次表枠名 タイトル枠高さ タイトルな字高さ タイトル 管理項目 セル幅 文字高さ 縦横比 位置合せ	OK 作成 「 8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイ)ル名 右寄せ	項目数 行数 う り く 方数 か イトル タイトル り し の の の の の し 、 の て 数 、 一支 の し り の し り の 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の	3 ▲ 25 ▲ 2 シート8 000 400 080 左寄せ	株高さ 画層 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2号	8.0 0	~		
入 目次テンプレート 日次表枠名 タイトル枠高さ タイトル総構比 空ノトル総構比 ウイトル 管理項目 セル幅 文子高さ 縦構比 ウイトル 管理項目 セル幅 文子高さ 縦構比 ウイトル	OK 作成 1 8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイルを 右寄せ	項目数 行数 タイトル シータイトル 15.00 9メー 左寄せ 2000	マンセル 3 金 2 シート目 2 シート目 5 金 2 シート目 5 小ト目 60.00 4.00 0.00 5 本寄せ 2 のの 5 本寄せ	枠高さ 画層 2号 2号 2号 2 2 30.00 4.00 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0.80 0 0 0	80			
 A) 目次テンブレート B次表枠名 A/トル本高さ A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル A/トル 	OK 「 1 8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイル名 古寄せ こ わし、	項目数 行数 クイトル シー タイトル 15.00 0.00 2.00 2.00 2.00	マンセル 3 (小) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	枠高さ 画層 2号 2号 マー 2号 マー 2号 マー 2 2 9 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	8.0			
♪ 目次テンブレート 目次表枠名 タイトル本高さ タイトルズ字高さ タイトル総構比 タイトル タイトル 管理項目 セル幅 文字高さ 縦横比 位置合せ オフセットX オフセットX オフセットY 2段書き	OK 「 作成 「 8.0 4.0 0.8 1 No. ページ(ファイルを 右寄せ こ なし	項目数 行数 シイトル シマータイトル 15.00 0.00 2.00 2.00 2.00 2.00	3 3 25 ↓ 2 2 2 3 4 2 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 5 - 1 - - - - - - - - - - - - -	枠高さ 画層 2号 2号 2号 2号 2号 2号 2 2 30.00 4.00 4.00 4.00 2.00 2.00 2.00	8.0	•		

4. 右図は目次の項目設定例です。

管理項目は[図題情報編集]で設定されたものが 表示されます。





5.右図のように表枠を配置します。

※右図では、表枠を 2 列配置しています。

配置後 Enter を押します。

🔥 目次テンプレート	作成				— ———————————————————————————————————		
目次表枠名	1						
タイトル枠高さ	8.0	項目数	3	枠高さ	8.0		
タイトル文字高さ	4.0	行数	25	画層	0 🗸		
タイトル縦横比	0.8						
	1	2		3			
タイトル	No.	タイトル	シート記	号			
管理項目	ページ(ファイル名	5) 👤 🧟 T	シート記	号 🗾			
セル幅		15.00	60.00	30.00			
文字高さ		4.00	4.00	4.00			
縦横比		0.80	0.80	0.80			
位置合せ	右寄せ	■ 左寄せ	■ 左寄せ	-			
オフセットX		2.00	2.00	2.00			
オフセットY	- + 1	2.00	2.00	2.00			
2段書き	コなし	□ なし	⊒ なし				
•					•		

	No.	2110	シート記号	日面内容	· '		' I									1	
RICIL)	R1C2L0	R1C3L0	R104W26			-			_			-			1.	
R2C1L)		1		•			•	• •		· 1	•				1 ·	
R3C1L)		1.1.1						• •	•	·				•	1 .	
. R4C1L)										. !		.]			1.	
R5C1L)										. 1] .	
R6C1L)																
R7C1L)		1						• •		· 1		·]			1 .	
 RBC1L)				•		⊢∔		• •	•	<u>. </u>	•	-	•			
. RSCIL)																
R10C1L	2			<u> </u>									_	_		Į .	
RIICIL)						ᄂ				_		_	_			
R12C1L)						\vdash				_		_				
· R13C1L	_				· ·		H		• •	· ·	- 1	· ·	-			1	
. R14CIL	<u> </u>		<u> </u>		•		┝─┼						-			÷ •	
RIDGIL	<u> </u>						\vdash									4 •	
01.304	-						\vdash				-		-			Ι.	
- R19/G1L	<u>,</u>						⊢┼				.		_			Ι.	
PIACIL	í –						┝┼									1	
820C1	Ť		<u> </u>	<u>i </u>	1		H	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	÷	<u> </u>	÷			1	
R71C1L)				÷.		F									1	
R22C1L)			- · · ·	· ·					-	-		-			1 ·	
- R23C1L)	and the second second	1.1.1.1					•			.					1.	
.R24C1L)										. !		. 1			1.	
R25C1L)															1	

6.目次テンプレート作成ダイアログが再表示されます。

[保存]をクリックします。

- ※表枠を編集・配置し直す場合は[描画クリ ア]を押して再度、編集・配置します。
- 7.テンプレート保存の確認ダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

これで、目次テンプレート作成の終了です。

🕗 目次テンプレート	、作成					-
目次表枠名	SAMPLE-MOKUJ	I				
しんぱいも	0.0	酒日料	A	枠高さ	8.0	
21 PMHE	0.0	-40 XX	4 v	111-10		_
タイトル文字高さ	4.0	行数	25 🔶	画層	U	Ψ.
タイトル縦横比	0.8					
	1	2		3	4	
<u>\$150</u>	No.	タイトル	シート記す		図面内容	
管理項目	ベージ(ファイル名)	<u>▼</u> 91 トル	ジート記す	╤	國面內容	
セル唱	18	0.00	00.00	30.00		30.00
人子向ぐ 縦横比		1.00	4.00	4.00		4.00
位果今世	右室サ	▼ 左空サ	0.00		上字サ	0.00
オフセットメ	- Livic	2.00	2.00	2.00	19/0	2.00
オフセットY		2.00	2.00	2.00		2.00
2段書き	コ なし	コ なし	コ なし		🖌 あり	
•		m				ł
$\langle \rangle$	図枠切替	描画クリア	更新	保存		216
	BricsCAD			×		
	BricsCAD	テンプレー	トを保存しまし	、 た。		

【補足】

- ■目次テンプレートの修正
- 1.[電キャビ]-[目次テンプレート作成]を選択し、目 次テンプレート作成ダイアログの「テンプレートを修 正」で行います。

※既存テンプレートを流用して作成する場合 も、「テンプレートを修正」で行います。

その場合は目次表枠名を変更して保存します。

- ■目次テンプレートの削除
- 1.[電キャビ]-[目次テンプレート作成]を選択し、目 次テンプレート作成ダイアログの「テンプレートを削 除」で行います。

▶ 目次テンプレート作成
テンプレートを選択してください
デンプレートを修正
Contents1 SAMPLE-MOKUJI
OK **>

▶ 目次テンプレート作成 ● 💌
テンプレートを選択してください
Contents1 SAMPLE-MOKUJI
OK キャンセル

5-2-3. 目次作成の設定

電キャビの「目次作成」を起動したときの表示画面の設定について説明します。

【操作手順】

1.電キャビを起動します。

目次を作成するフォルダを選択します。 [ツール]-[目次作成]を選択します。



2.目次作成ダイアログが表示されます。

最初の空き番号に目次が割り当てられます。

右図の場合は「001」

※[ファイル]-[目次作成実行]を選択すると目 次(*.dwg)が作成されます。

ノア	イル	(F) 編集(E) 表	示(V)		
	3	X 🖻 🛍 👹		, 🔁	
		ページ	図番	タイトル	備考
1	1	001			
2	1	C1		制御回路図	
3		C2		制御回路図	
4		C3		制御回路図	
5		J1		制御回路図	
6		J2		制御回路図	
7		J 3		制御回路図	
8	1	К1		盤実装図	
9		M1		部品明細表	

3.[編集]-[設定]を選択します。

設定ダイアログが表示されます。

目次のベースとなる用紙・テンプレート・セル幅など を設定することができます。

※図種には「階層設定」の[図種・用紙]タブで 登録された図種が表示されます。 用紙名称に表示されるのは「その他図枠」 のみです。電気図枠は表示されません。

列の表示設定では、目次作成ダイアログの セルの幅と入力の設定を行います。

4.[OK]をクリックします。

目次作成ダイアログに戻ります。

[ファイル]-[目次作成実行]を選択すると目次が 作成されます。

1121 設定	E
用紙・デンプレート 図種(Z): 目次 ▼ 用紙名称(Y): 目次用A3棟 ▼ 図枠名: saconta3h	まとめ表示 ■ まとめ表示を行X(M): まとめ表示の区切り文字(K): ~ (個別表示の区切り文字(P): .
デンブレート名(T): <u>CONTENTS1</u> ▼ 目次ファイル名 ファイル名の撤額文字(S): ファイル名の開始数字(N): 001	まとめ表示項目(D): 項目 まとめ表示 ページ 谷一項目 マ 回番 まどの表示 タイトル まとめ表示 (備考 まとめ表示)マ
列の表示設定(R): ページ 図番 タイトル 備考 セルの痛 12 12 12 セル入力 日本語 日本語 日本語 日本語 マ 空白行のみのページも出力する(E) ア 常に沈用モードで動作する(H)	12 12

5-3. 履歴編集の運用について

履歴編集の運用について説明します。

5-3-1. 履歴編集運用前の準備

履歴設定を行う項目について自社管理の運用を決定する必要があります。

- (5-3-2.履歴設定(物件単位管理)参照)
 - ■タイトル設定(履歴に表示する項目のタイトルを設定)
 - ■インデックス設定(履歴の表示インデックス[アルファベット/数字など]の設定)
 - ■日付書式(日付表記の書式の設定)
 - ■物件の表示設定(物件単位で表示する項目の設定)
 - ■ページの表示設定(ページ単位で表示する項目の設定)
 - ※上記設定を行い、運用を始めた後での変更も可能ですが、運用の整合性が取れなくなりますので運用の前に 熟慮していただく必要があります。
 - ■図枠に履歴ブロックを作成します。(5-3-4.履歴欄作成 参照)
 - ※履歴は図枠内の履歴ブロックで更新されます。

5-3-2. 履歴設定(物件単位管理)

ここでは、履歴の物件単位設定例を説明します。

【操作手順】

1.ACAD-DENKIを起動します。

2.電キャビアイコンツールバーから[履歴設定]をクリックします。



3.履歴設定ダイアログが表示されます。

各ボタンをクリックすると各設定のダイアログが表示 されます。

履歷設定	— ×
ファイル(F) 設定(S)	
履歴の詳細語	没定
物件単位(インデックス)で管	き理 切替
タイトル設定	物件の表示設定
インデックス表記	ページの表示設定
日付書式設定	

4.[タイトル設定]をクリックします。

履歴-タイトル設定ダイアログが表示されます。ここでは、表示項目のタイトルを設定します。

(右図はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

履歴 - タイト	トル設定	×
表示項目のタイト	・ルを指定	
	タイトル	
記事1	共通記事	
記事2	ページ別記事	
記事3	記事3	
記事4	記事4	
記事5	記事5	
日付1	変更日付	
日付2	日付2	
日付3	日付3	
日付4	日付4	
日付5	日付5	
氏名1	変更担当者	
氏名2	氏名2	
氏名3	氏名3	
氏名4	氏名4	
氏名5	氏名5	
	الاتلاء تحديثه	

5.[インデックス表記]をクリックします。履歴-インデックス表記設定ダイアログが表示されます。

ここでは、インデックスの表記について設定します。

(右図はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

6.[日付書式設定]をクリックします。履歴-日付書 式設定ダイアログが表示されます。

ここでは、日付の書式について設定します。

(右図はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

[リセット]をクリックすると、デフォルトに戻ります。



履歴 - 日付書	書式設定
日付書式	yy/mm/dd
yy 西暦 yyyy 西暦 m 月(1 mm 月(1 mmm 月(3 d 日(1 dd 日(1	≸年下2桁(00~99) ≸年4桁(0100~9999) ~12))1~12) 英語表記:Jan~Dec) ~31))1~31)
ОК	キャンセル リセット

7.[物件の表示設定]をクリックします。履歴-物件 の表示設定ダイアログが表示されます。

ここでは、物件(フォルダ単位)の表示について設定 します。(右図はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

[リセット]をクリックすると、デフォルトに戻ります。



8.[ページの表示設定]をクリックします。

履歴-ページの表示設定ダイアログが表示されま す。

ここでは、ページ(ファイル単位)の表示について設定します。(右図はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

[リセット]をクリックすると、デフォルトに戻ります。

9.[ファイル]-[終了]をクリックします。

以上で、履歴設定の終了です。

履歴 - ページの表示設定	
タイトル 記事3 記事4	表示項目 國 共通記事
記事 ⁴ 記事5 日付2	Image: 1 Image: 2 Image: 2
日付3 日付4	
日何5 氏名2 氏名3	
氏名4 氏名5	
▼ ※表示設定を変更すると、既存の)	履歴情報に不都合が生じる場合があります。
ОК	キャンセル リセット

雇歴設定
ファイル(F) 設定(S)
終了(X) _{发定}
物件単位(インデックス)で管理 切替
タイトル設定物件の表示設定
インデックス表記 ページの表示設定
日付書式設定

5-3-3. 履歴設定(ページ単位管理)

ここでは、履歴の物件単位設定例を説明します。 【操作手順】

1.ACAD-DENKIを起動します。

2.電キャビアイコンツールバーから[履歴設定]をクリックします。

3.履歴設定ダイアログが表示されます。

右図はデフォルトです。ページ単位管理に切替えます。

履歴設定ダイアログの[切替]をクリックします。

各ボタンをクリックすると各設定のダイアログが表示 されます。



履歴設定
ファイル(F) 設定(S)
履歴の詳細設定
物件単位(インデックス)で管理 切替
タイトル設定物件の表示設定
インデックス表記 ページの表示設定
日付書式設定

4.確認のメッセージが表示されます。

[はい] をクリックします。



5.確認のメッセージが表示されます。

[OK]をクリックします。



6.履歴「ページ単位管理」の設定に切り替わりま す。

履歷設定	×
ファイル(F) 設定(S)	
履歴の詳細設	定
ページ単位で管理	切替
タイトル設定	物件の表示設定
インデックス表記	ページの表示設定
日付書式設定	

|| 履歴 - タイトル設定| X 表示項目のタイトルを指定 タイトル 共通記事 記事1 ページ別記事 記事2 記事3 記事3 記事4 記事4 記事5 記事5 変更日付 日付1 日付2 日付2 日付3 日付3 日付4 日付4 日付5 日付5 変更担当者 氏名1 氏名2 氏名2 氏名3 氏名3 氏名4 氏名4 氏名5 氏名5 OK キャンセル

履歴 - 日付書式設定
日付書式 vy/mm/dd
yy 西暦年下2桁(00~99) yyyy 西暦年4桁(0100~9999) m 月(1~12) mm 月(01~12) mmm 月(英語表記:Jan~Dec) d 日(1~31) dd 日(01~31)
OK キャンセル リセット

7.[タイトル設定]をクリックします。

履歴-タイトル設定ダイアログが表示されます。ここでは、表示項目のタイトルを設定します。

(右図はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

8.[日付書式設定]をクリックします。

履歴-日付書式設定ダイアログが表示されます。

ここでは、日付の書式について設定します。(右図 はデフォルト表示)

[OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 定ダイアログに戻ります。

[リセット]をクリックすると、デフォルトに戻ります。

×

 \uparrow

 \downarrow

9.[ページ表示設定]をクリックします。履歴-ページ 履歴 - ページの表示設定 の表示設定ダイアログが表示されます。 タイトル 表示項目 🐕 共通記事 記事3 . ここでは、ページ(ファイル単位)の表示について設 . 🐕 ページ別記事 記事4 定します。(右図はデフォルト表示) 記事5 🙀 変更日付 日付2 🙀 変更担当者 [OK]もしくは[キャンセル]をクリックすると、履歴設 日付3 \rightarrow 定ダイアログに戻ります。 日付4 日付5 \leftarrow 氏名2 [リセット]をクリックすると、デフォルトに戻ります。 氏名3 氏名4 氏名5

10.[ファイル]-[終了]をクリックします。

以上で、履歴設定の終了です。

 ※表示設定を変更すると、既存の履歴情報 OK キャン 	記不都合が生じる場合があります。 セル リセット
宿歴設定 ファイル(F) 設定(S) 終了(X) ページ単位で管理	 安定 切替
タイトル設定 インデックス表記 日付書式設定	物件の表示設定 ページの表示設定

5-3-4. 履歴欄作成

ここでは、履歴編集を反映する履歴欄を作成する手順を説明します。 ACAD-DENKIを起動しておきます。

【操作手順】

1.電キャビツールバーから[履歴欄作成]アイコンを 選択します。

履歴欄作成ダイアログが表示されます。



2.履歴ブロックを作成する図枠を選択して、[OK]を クリックします。

3.履歴欄作成ダイアログが表示されます。

図枠内に履歴項目を配置していきます。



※履歴設定で設定してある項目にはアイコンが表示されています。
 ※配置する情報を選択して、履歴行数など、配置する文字のプロパティを設定します。
 ※[配置]をクリックすると「履歴行数」分だけ、まとめて配置することができます。

下図は	は配置例です。				
	▶ 履歴欄作成		×		
	履歴項目(1)	履歴行数(L)	4		
	インデックス	- 行の間隔(S)	8		
_ 0 -	ページ別記事 記事3	■ 文字高さ(H)	4		
E	記事4	縦横比(W)	0.8		
	記事5 🚰 変更日付	位置合わせ(M)	左下 ▼		
	日付2	角度(A)	0		
	日付3 日付4	▼ 配置(P)	参照(R)		
	全消去(C) グルー	ブ(G) 登録(T)	閉じる(X)		
インデッ	クスは通記事4	ページ別記事4	変更日付4	変更担当者4	
インデッ	の 共通記事3	ページ別記事3	変更日付3	変更担当者3	
インデッ	7 戎通記事2	ページ別記事2	変更日付2	変更担当者2	
Frage	》共通記事1	ページ別記事1	変更日付1	変更担当者1	承

4.[登録]をクリックします。

5.履歴欄を作成して、保存の確認ダイアログが 表示されます。



[はい]をクリックします。

履歴欄作成が終了します。

【確認ダイアログのボタンの説明】



履歴欄を作成して保存し、履歴欄作成コマンドを終了します。 履歴欄を保存せずに、履歴欄作成コマンドを終了します。 保存をキャンセルし、履歴欄作成ダイアログに戻ります。

■履歴欄作成ダイアログボタンの説明

グループ(<u>G</u>)…

グループ(<u>G</u>)...

配置(P)] 選択した履歴項目を図面内に配置します。
参照(<u>R</u>)	配置済みの履歴項目の文字スタイルを参照します。
全消去(C)	配置済みの履歴欄を一括消去します。
登録(1)	履歴欄を登録します。
_ 閉じる⊗	履歴欄作成ダイアログを終了します。

図枠内に同じ項目を複数配置した場合に、各履歴欄グループとして登録します。 をクリックします。履歴欄作成履歴グループの選択ダイアログが表示されます。

5-3-5. 履歴項目の複数配置

ここでは、同じ履歴項目を図枠内に複数配置する例を説明します。 【操作手順】

1. <u>5-3-4.履歴欄作成</u>の「3」までの手順を参照して、1 つ目の履歴項目を作成します。

2.[グループ]をクリックします。

3.履歴欄作成-履	夏歴グループの選択ダイアログが表
示されます。	

「履歴グループ」から下記を選択します。

選択:追加履歴グループ #2

4.[OK]をクリックします。



キャンセル

OK

×

•

4

8

4

0.8

0

配置(P) 参照(R)

位置合わせ(M) 左下

5.2 グループ目の履歴欄を作成します。

右図は、「インデックス」を図枠の右上に1 行配置 した例です。

(2)🍆 履歴欄作成(追加グルーナ#2) 履歴項目① 履歴行数(L) 1 行の間隔(S) 8 😨 共通記事 🎇 ページ別記事 文字高さ(H) 4 記事3 記事4 縦横比(W) 0.8 記事5 位置合わせ(M) 中央(M) 🗸 2017-1
2017-1 日付2 角度(A) n 日付3 配置(P) 参照(R) 日付4 【全消去②】 グループ◎... 登録① 閉じる⊗

履歴行数(L)

行の間隔(S)

文字高さ(H)

縦横比(W)

角度(A)

全消去(C) グループ(G)... 登録(T) 閉じる(X)

3 履歴欄作成 (追加グループ#2)

履歴項目(I)

👹 共通記事 🚰 ページ別記事

記事3

記事4 記事5

愛更日付 日付2

日付3

日付4

6.[登録]をクリックします。



[はい]をクリックします。

履歴欄作成が終了します。

BricsCAD	
?	履歴ブロックを作成して保存終了します。よろしいですか?
	(はい(Y) いいえ(N) キャンセル

【2 グループ目の履歴欄への記入情報】

履歴欄へは、該当プロジェクトの最新履歴情報が配置行数分、転記されます。 例えば、基本的な履歴行が4行、2グループ目の履歴欄が1行のとき、履歴情報が3個(インデックス1,2,3)存 在する場合、基本的な履歴欄と2グループ目の履歴欄への転記情報は下記のようになります。

■基本的な履歴欄

配置順の 1,2,3 行に、インデックス 1,2,3 の情報が転記され、4 行目は空欄になる。

■2 グループ目の履歴欄

1 行にインデックス 3 の情報が転記される。



ACAD-Parts/ACAD-Netで情報を抽出した場合の補足を説明します。

6-1. ユーザ定義属性

ACAD-Parts/ACAD-Net でのユーザ定義属性の設定方法と情報について説明します。

6-1-1. ACAD-Parts での部品情報抽出例

使用属性の設定(<u>3-1-5.使用属性の設定参照</u>)で追加したユーザ定義属性の情報を抽出するための設定と 抽出までの流れを説明します。

(流れ)1.部品マスタ設定登録2.環境設定登録/ファイルスタイル設定・部品テンプレート登録3.情報の抽出

各種設定の操作手順・ファイルスタイル設定・部品テンプレートへの登録は、<u>1-2-3.製品別参照マニュアル一覧</u>参照の上、該当マニュアルをご確認ください。

【部品マスタ設定への登録】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタ設定]を 選択します。

部品マスタ設定ダイアログが表示されます。

	5751	東山ノナロチロジェンク	*=		
1	ショール 一部 ニュード	「「「「「「「「」」の「「「」」「「」」の「「「」」「「」」の「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」」の「」」の「」」の「「」」の「」」の「」」の「「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」の「」」。	家市	H-	上に移動
-	対応電気シンボル	BOMDSYM	-		
2	対応器員シンボル	BOMBSYM	-		下に移動
4	利心品共クライバレ	TYPE	1		
5	型式補助1	TYPE 1	-		
6	型式補助2	TYPE2	~		
7	定格	SPEC	v		
8	定格補助1	SPEC1	V		
9	定格補助2	SPEC2	V		
10	定格補助3	SPEC3	V	1	
11	定格補助4	SPEC4	V	1	
12	定格補助5	SPEC5	1	1	
13	定格補助6	SPEC6	V		
14	定格補助7	SPEC7	1		
15	部品表転記用定格	BOMSPEC	V		
16	部品名	DEVICE	V		
17	部品名補助1	DEVICE1	1	.	

2.「部品表設定」タブの「備考 6」(40 行目:初期	月
設定)を表示させます。	

※ここでは、初期設定を想定した例としています。

運用によっては、タイトルが違う場合があります。

	タイトル	割り付け属性名	表示		日に移動
35	部品数量	BOMCOUNT			12. 419 203
36	使用確認	BOMCONFIRM			T1-1041
37	メーカーコード	G_MAKERCODE			トに移動
38	メーカー品名コード	G_DEVICECODE			
39	自社品目コード	G_MYCODE			
40	備考6				
41	備考7				
42	備考8				
43	備考9				
44	備考10				
45	備考11				
46	備考12				
47	備考13				
48	備考14				
49	備考15				
50	備考16				
51	備考17			•	

3.タイトル/割付け属性名/表示を変更します。

タイトル: 追加属性 1 割り付け属性名: ZOKU1 表示:チェック入力

4.[登録]をクリックします。

部品マスタの設定はこれで終了です。

				_	
	タイトル	割り付け属性名	表示	_	上に移動
35	部品数量	BOMCOUNT			
36	使用確認	BOMCONFIRM			下口報調
37	メーカーコード	G_MAKERCODE			110199
38	メーカー品名コード	G_DEVICECODE			
39	自社品目コード	G_MYCODE			
40	追加属性1	ZOKU1	1		
41	備考7				
42	備考8				
43	備考9				
44	備考10				
45	備考11				
46	備考12				
47	備考13				
48	備考14				
49	備考15				
50	備考16				
51	備考17			- I	

【環境設定への登録】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-Parts]-[環境設定]を選択し ます。

2.ACAD-Parts 環境設定ダイアログが表示されます。

「追加属性」の"表示"にチェックを入力します。

c.20	テーノルト	1)	ACA	4D-DENI	KI –				
品表	対象	分類項	₿ E	≦位数量	集約	項目	ソート(ま	【約)	表示項
		表示	2			表示	•		- (二彩2番句(11)
8	定格					1			10 19 #510.
9	部品表転	記用定格	ş			V		F	「(:18勧(D)
10	部品名					V			tere avote.
11	部品表転	記用部品	名			✓			
12	リレー型	र,					Ξ	1	最上段(T)
13	メーカー					V			
14	価格1					~		1	駸ト段(Β)
15	価格2								
16	価格3								
17	重量								
18	形状(幅)					V			
19	形状(高	5)				V			
20	形状(奥)	うき)				V			
21	備考1								
22	偏考2								
23	1備考3					<u> </u>			
24	1届考4 (#考5					<u> </u>			
26	1)通行り 1)自力の日子が4					1			
26	シジュアリード								
27	第二十二十二日 キャック キャック アンチャック アンチャップ アン・アン・プレン アン・アン・プレン アン・アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・ディン アン・プレン アン・ディング アン・アン・プレン アン・ディング アン・プレン アン・アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・プレン アン・ディング アン・ディン アン・プレン アン・アン・プレン アン・アン・プレン アン・アン・プレン アン・プレン アン・アン・プレン アン・プレン アン・ディン アン・ディン・ディン・ディン アン・ディン アン・ディン アン・ディン アン・ディン・ディン アン・ディン アン・ディン アン・ディン・ディン アン・ディン アン・ディン アン・ディン・ディン・ディン・ディン・ディン・ディン・ディン・ディン・ディン・ディ	•					-		
28	高Poot数型 (市田1453)	1					-		
29	1. 伊用:唯語:2	{							

3.[上に移動]をクリックして位置を調整します。

4.「追加属性 1」が部品コードの次の行まで移動したことを確認します。

[保存]をクリックします。

	D-Parts環境設定					
マッピング	テーブル(M)	ACAD-DENKI -				
部品表	対象 分類項目	単位数量	集約項目	ノート(集約)) 表示項 • •	
	表示	名	表示		上(こ移動(U)	
1	盤No.		V			
2	装置ユニットNo.				下に移動(D)	
3	器具番号					
4	部品コード		v		B (2(2)	
5	追加属性1		I		東上段(1)	
6	対応電気シンボル				BITICICO	
7	対応器具シンボル		V		载下段(B)	
8	型式					
9	定格					
10	部品表転記用定格		v			
11	部品名		v			
12	部品表転記用部品:	名				
13	リレー型式					
14	メーカー		V			
15	価格1		v			
16	価格2					
17	価格3					
18	重量					
19	形状(幅)		v			
20	形状(高さ)		V			
21	形状(奥行き)		V			
22	備考1			-		
77	イルスタイル設定(F)	(保存(S) 閉じ	3(X)	和期化10	

5.確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックして位置を調整します。

部品情報処理項目設定の編集はこれで終了で す。



【情報抽出例】

例として、ACAD-DENKI 提供サンプル図面の「C3.dwg」に編集を加えたものから部品情報を抽出しています。

抽出するためのファイルスタイル設定を作成しておきます。手順につきましては、<u>1-2-3.製品別参照マニュアルー</u> <u>覧参照</u>の上、該当マニュアルをご確認下さい。

1.C3dwg 内のコイルを"追加属性 1"を付加しているシンボルに置換しています。

また、器具番号"CR04""CR05"の[追加属性]項 目に「(*属性追加例)」と入力しています。

2.ACAD-DENKIを起動します。

[プロジェクト]-[開く]で、サンプルフォルダを指定して開きます。 [ACAD-Parts]-[部品情報処理]を実行し C3.dwg から情報を抽出します。

3.部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されま

す。

「追加属性」が情報抽出された例です。 ※右図は、集約処理まで進めています。

🖬 Ӽ 🖻 🛍 🗙 ᆇ ﷺ ♠ ᢤ↓ 巅↓ ‡‡ 🍇 💋 🤋										
		盤No.	装置ユニット	器具番号	部品コード	追加属性1	対応器具シ	型式		
	1	1F		RSPB1	PBS003			ABN110F		
1. 図面違択	2	1F		SPB1	PBS006			ABN101G		
1423000/06171	3	1F		SPL1	PLR032			APN116F		
	4	2F		RSPB2	PBS003			ABN110F		
	5	2F		SPB2	PBS006			ABN1010		
2編集	6	2F		SPL2	PLR032	(*属性追加例)		APN116F		
	7	3F		RSPB3	PBS003			ABN110F		
ERE	8	3F		SPB3	PBS006			ABN1010		
E 2	9	3F		SPL3	PLR032			APN116F		
3スタイル	10	OUT		M						
	11	P1		DPL	PLR032			APN116F		
	12	P1		DRPB	PBS001			ABN110E		
1 45 45	13	P1		DRV ⁰¹	SST001			H3CR-A		
4.果約	14	P1		F1	HYU002			AFaC-5		
-	15	P1		LMP ^{TS1}						
ц <u>и</u>	16	P1		MC88°F						
5部品表作成	17	P1		MC88 [°] R						
CONDUCT FRA	∎ 10	D1		MOOD ^{O1}	NED011			MD90 OS		
	C	SV出力(C)	図面へ	.反映(T)						

6-1-2. ACAD-Net での情報抽出例

使用属性の設定(3-1-5.使用属性の設定 参照)で追加したユーザ定義属性の情報を抽出するための設定

と抽出までの流れを説明します。

(流れ) 1.既存の線番シンボルにユーザ定義属性を追加 2.情報抽出のための設定

3.編情報の抽出

各種設定につきましては、1-2-3 製品別参照マニュアル一覧参照の上、該当マニュアルをご確認ください。

【線番シンボルの編集】

1.[スタート]ボタンから「プログラム」-「Alfatech」-「管理ツール」-「ACAD-DENKI」-「使用属性の 設定」を選択します。



2.使用属性の設定ダイアログが表示されます。



3.追加属性を付加するシンボル種別を選択しま す。

右図例

線番

🧃 使用属性の設	定 - ACAD-DENKI (ABC工	業現	譴()		E	- • •
シンボル種別(S)	่⊐า/ม	-	ĺ			
言羊糸田(L)		*				
属性	 		≧付ける	属性編集で 隠す	属性)▲ ※そ0 表示	上に移動(T) 下に移動(B)
58 ZOKU1	ロジック					110010-00000
	盤図					行追加(1)
	盤図(端子)					2=#URA(D)
	「「「「」「「」」「「」」「「」」「「」」「」「」」「」」「」」「」」「」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」」「」」					
	線番					ロック解除(U)
	交点マーク	E				
	外部端子					
	中継端子					_ 縮小して
	コインジョーナ 「使り線					□ 表示(M)
	接地					提供属性
	IO端子					- 長示(F)
	銘板					
	シールド 一手 一方					
	電源					ОК
	面名称	-				have been a
						-++701
•					•	ヘルプ

4.属性追加のために[行追加]をクリックします。

新しい行が追加されます。



5.それぞれにキーボードから値を入力します。

属性:SENBANOP1

名称:線番オプション 1

画層:SENBANOP1

[OK]をクリックします。

2000	🖄 使用属性の設定 - ACAD-DENKI (ABC工業 環境)									
	シンボ) 詳細(L									
		属性	名称	画層	追番を付ける	属性編集で 隠す	属性 ▲ ※その 表示	上に移動(T) 下に移動(B)		
	34	SENBANOP	線番オプション	SENBANOP			-	行追加(1)		
								行削除(R)		
								▲新住板(4) □ 縮小して 表示(M)		
								□ 提供属性 表示(F)		
								適用(A)		
								キャンセル		
	•						▼ ►			
6.保存確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックします。

7.確認のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。



設定を保存しました。

OK



【縦配線用線番シンボルへの属性の追加】

1.ACAD-DENKIを起動します。

2.[シンボル]-[システムシンボル登録]を選択します。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

システムシンボル登録ダイアログの初期表示種別 が「線番」になっています。

3.縦配線用のシンボル名を選択します。

シンボル名:Senban

[編集]をクリックします。

4.選択したシンボルファイルが開きます。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

[属性配置]をクリックします。





5.属性配置ダイアログが表示されます。

- ※「配置する属性の一覧」の一番下に「使用 属性の設定」で追加設定した属性が表示 されます。
- 選択:線番オプション 1
- 属性を非表示画層(PIN0FF)に配置する :チェック入力

属性プロパティなどを調整します。 (右図は一例です。)

[配置]をクリックします。

6.配置する場所をクリックします。



•														
				1										
				Å										
•				ģ			c ic i	ND.	ά.ΝI	יסר	·			
•				É			SEI	1ZA	[15.				
			Ξ	ഗ			虛	ίŝΫι	J.					
•			\sim	Ζ			je d	ŞĮД	Ę.					
•			V.	Å	μ	i C	APC	:OLi	ĴŔ					
			. –	분	IDE	1	K		援감	;,	18	οv		
				ь́ш	K.		517	ΩĒ,	Ę					
•			\sim	ഗ	m		Dĺ	içt.						
				Γ		- H G	ΉΑ. RP	- NU COI	M DE					
•				Ō	-W	′IŘ	Ë_	ŌŔĬ	ΰĒ	R				
				Ζ.,										
				- T										
				Z										
				لينا										
				S										

7.属性配置ダイアログは[閉じる]をクリックします。

属性配置ダイアログが終了します。

5	😕 属性配置				- • •
	1.通常属性の配置 2. 追番属性の配置	配置する居性の一覧(L): 線番 接現線番 接現線番 線種類 電線やイズ 電線色 線樹 なか 電圧 回路区分 電圧 二 回路区分 種性 名称1 (言号名称2 5) 以久ト 叉 属性を非表示画層(PI	E NOFF) (2配置	属性名 文字高さ(H): 縦横比(W): 位置あわせ(A): 角度(R): デフォルト値(T):	1 1 左寄せ
			(< 前へ(B))次へ(N)>	- 閉じる 💦

8.システムシンボル登録ダイアログの[登録]をクリッ クします。

システムシン	システムシンボル登録						
属性配置	登録	キャンセル					

 9.システムシンボルの保存ダイアログが表示されます。 本例では、システムシンボルを上書きしますので、 そのまま[保存]をクリックします。 	システムシンボルの保存 シンボル種別 線番シンボル シンボル名 Sortban ジンボルの説明 縦配線用・縦表示 保存 戻る	線番シンボル Senban Senban1 SENBANG Sample-Senban	 すべて表示 ウラシックタイプの ピンマークで作成
10.上書き確認のダイアログが表示されます。	В	ricsCAD	23
[はい]をクリックします。		同名のシンボルが存在します。 上書きしますか? はい(Y) いいえ(I	٧)
11.保存確認のダイアログが表示されます。		BricsCAD	
[OK]をクリックします。		シンボルを保存しました。	
		ОК]

【横配線用線番シンボルへの属性の追加】

1.[シンボル]-[システムシンボル登録]を選択しま す。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

システムシンボル登録ダイアログの初期表示種別 が「線番」になっています。



2. 横配線用の線番シンボル名を選択します。

シンボル名:Senban 1

[編集] をクリックします。

🔥 システムシンボル登録	- • •
種別	
線番シンボル	▼
シンボル名	プレビュー
Senban Senban1 SENBANG	SENIBANO SELEMAN S
	標準提供シンボル (※削除不可) シンボルの説明 検配線用
	-
編集	削除キャンセル

3.AutoCAD 上で選択したシンボルファイルが開きます。

システムシンボル登録ダイアログが表示されます。

[属性配置]をクリックします。



4.属性配置ダイアログが表示されます。

※「配置する属性の一覧」の一番下に 使用属性の設定で追加設定した属性」が 表示されます。

選択:線番オプション1

属性を非表示画層(PIN0FF)に配置する :チェック入力

属性プロパティなどを調整します。 (右図は一例です。)

[配置]をクリックします。

5.配置する場所ををクリックします。



6.属性配置ダイアログは[閉じる]をクリックします。	▶ 属性配置			- • •
属性配置ダイアログが終了します。	1. 通常属性の配置 2. 追番属性の配置	記置する。属性の一覧(L): 電流 回路区分 種性 信号名称1 信号名称2 別ダクト ベア数 グループ識別内順番 表示用電線情報 輸売キャック色 接洗 ケーブルバループ識別内順番 ケーブルパループ識別内順番 ケーブルパループ識別内順番 ケーブルパループ識別の順番 ケーブルパループ 読品 あつちション1	▲ 腐性名 文字高さ(H): 縦横比(W): 位置あわせ(A): 角度(R): デフォルト値(T):	SENBANOP1 1 1 左寄せ
		☑ 属性を非表示画層 (PINOFF) (20) ○ (前へ)	置する(V) (B) 次へ(N) :	配置(P) 閉じる

7.システムシンボル登録ダイアログの[登録]をクリック します。



8.システムシンボルの保存ダイアログが表示されます。

本例では、システムシンボルを上書きしますので、 そのまま[保存]をクリックします。

	システムシンボルの保存		×
	シンボル種別 線番シンボル	線番シンボル Senban	
`	シンボル名 Senban1	Senban2 Senban1	SEN BAN-CIENBING UNIT
	シンボルの説明 横配線用	SENBANG	
	保存 戻る		 タイに扱い、 クラシックタイプの ビンマークで作成

9.上書き確認のダイアログが表示されます。

[はい]をクリックします。

Brics	CAD E	3
	? 同名のシンボルが存在します。 上書きしますか?	
	(まい(Y) しいえ(N)	
	BricsCAD	
	シンボルを保存しました。	
	ок	

10.保存確認のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

【情報抽出設定】

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管 理ツール]-[ACAD-Net]-[環境設定]を選択しま す。



2.ACAD-Net 環境設定ダイアログが表示されます。

図は配線リストの設定を表示しています。

「配線ユーザ属性 1」を追加した例です。



3.項目から「ACAD-Net」-「配線図 リスト」-「ユー ザ定義」を選択します。

右側の表示がユーザ定義に変わります。

4.「配線ユーザ定義属性 21」項目に値を入力しま す。

入力:SENBANOP1

[OK]をクリックします。



【情報抽出例】

本例では、ACAD-DENKI 提供サンプル図面の「C3.dwg」に編集を加え、配線図 FromTo リスト作成を行っています。

1.C3dwg内の線番シンボルを"線番ユーザ定義属 性"を追加した「SENBAN.dwg」「SENBAN 1.dwg」にシンボル置換しています。

また、右図のように[属性/文字]-[属性編集]で線 番シンボルの「線番オプション」に値を入力していま す。



2.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[ACAD-Net]-[ACAD-Net]を選択します。

ネット処理ダイアログが表示されます。



[実行]をクリックします。

3.プロジェクトからファイルを選択ダイアログが表示されます。

処理対象のファイルを選択します。

[OK]をクリックします。



「配線ユーザ属性」(線番オプション)が情報抽出されます。

【線番ユーザ定義属性の編集例】

抽出した「線番オプション 1」のその他の編集方法、プロジェクトから、属性を編集する図面を開き、カレントページに対して電線情報を編集する方法を説明します。

1.[配線]-[電線情報]-[編集]を選択します。

電線情報編集ダイアログが表示されます。本例で はカレント図面を選択します。

🔀 電線情報編集	×
カレント図面	•
実行	キャンセル

2.[実行]をクリックします。

3.カレント図面の電線情報が表示されます。

[表示設定]をクリックします。

							0		
~~~	-ジー 配線名称	「 線番	線種類	電線サイズ	電線色	回路区分	グループ語・		
X 01	盤枠内配	锦							
× 01	盤枠内配	線							
X 01	盤枠内配	镍							
X 01	盤枠内配	锿							
C1	標準	(L01)	IV	1.25	黄				
C1	太線	(R)	IV	3.5	黒				
01	太線	(R1)	IV	3.5	黒				
01	母線	(R01)	IV	2	黄				
C1	標準	(R01)	IV	1.25	黄				
C1	標準	(R2)	IV	1.25	黄				
C1	太線	(R3)	IV	3.5	黒				
01	太線	(S)	IV	3.5	黒				
01	太線	(S1)	IV	3.5	黒				
C1	母線	(S01)	IV	2	苗				
	1000.044-	(0.04)	D /	1.05	<b>H</b>				

4.電線項目設定ダイアログが表示されます。

[▼]をクリックして、追加する属性の項目を選択します。

選択:SENBANOP1

電線項目設定		×
	肖明徐	
属性	プロンプト	<b>A</b>
SENSYU	線種類	
SENSIZE	電線サイズ	
SENCOLOR	電線色	
KUBUN	回路区分	
GRP_CODE	グループ識別	
POLE	極性	=
CAPCOLOR	端末キャップ色	
BRANCH	接続先	
	<b></b>	
		2
		Ŧ
•	•	
ОК	キャンセル	

5.属性を選択すると、プロンプトが表示されます。

[OK]をクリックします。

	肖明余	
属性	プロンプト	
SENSYU	線種類	Tr
SENSIZE	電線サイズ	
SENCOLOR	電線色	
KUBUN	回路区分	
GRP_CODE	グループ識別	
POLE	極性	Ξ
CAPCOLOR	端末キャップ色	
BRANCH	接続先	
SENBANOP1 🗾	線番オプション1	
		1
III.	•	

6.電線情報ダイアログの項目に「線番オプション」が 追加されているのが確認できます。

[V]をクリックして、「線番オプション 1」を編集する 行を表示させます。

1005	電1.5KW動	5AC200V		• 14	ターン通用	Defa	ult 🛛 🔻						
	ページ 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51 51	已保名称 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線 些种内配線	線番	49 <b>1</b> <u>1</u> 10	電線サイズ	電線色	回路区分 5.	レーブ謝50	極性	端末キャップ	报统先	線番オプション1	
	01	盤枠内記線 標準	(L01)	N	1.25	*							
C	01	太線	(R)	IV	3.5	黒						入力例1	
10	D1	太線	(R1)	IV	3.5	*						入力例1	
1.1		a first hand	(0.0.4)	D/	1.25	苦						2000000000	
-	D1	復準	(R01)	1.0									
0	D1 D1	積準 母線	(R01) (R01)	IV	2	黄							
	01 01 01	積準 母線 積準	(R01) (R01) (R2)	IV IV	2 1.25	董董				-			
	01 01 01 01	積準 母線 標準 太線	(R01) (R01) (R2) (R3)	IV IV IV	2 1.25 3.5	黄蕉							
	01 01 01 01 01	積準 母線 積準 太線 太線	(R01) (R01) (R2) (R3) (S)	N N N N	2 1.25 3.5 3.5	黄素素						入力例2	
	01 01 01 01 01 01	(標準) (標準) 太線 太線 太線 太線	(R01) (R01) (R2) (R3) (S) (S1)	N N N N N	2 1.25 3.5 3.5 3.5	贫贫果果果						入力例2 入力例2	
	01 01 01 01 01 01 01	積準 母線 積準 太線 太線 太線 太線 日線	(R01) (R01) (R2) (R3) (S) (S1) (S01)		2 1.25 3.5 3.5 3.5 3.5 2	黄蕉黑黑蕉						入力例2 入力例2	
	01 01 01 01 01 01 01 01 01	積準 母線 積準 太線 太線 五線 母線 種準	(R01) (R01) (R2) (R3) (S) (S1) (S01) (S01)		2 1.25 3.5 3.5 3.5 2 1.25	黄蕉黑黑黑蕉						入力例2 入力例2	
	51 51 51 51 51 51 51 51 51	積準 母線	(R01) (R01) (R2) (R3) (S1) (S01) (S01) (S01) (S2)		2 1.25 3.5 3.5 3.5 2 1.25 1.25	黄黄黑黑黑黄黄黄						入力例2 入力例2	

7.右図は情報抽出例を表示するための例です。

入力が終了したら

[実行]をクリックします。

BI系電1.5KW和	カナ)AC200V		- R	ターン適用	Defa	ult 🛛 🔻						
ページ	記線名称	線番	線種類	電線サイズ	電線色	回路区分	グループ識別	極性	端末キャップ	接绕先	緑番オプション1	
01	標準	(R2)	IV	1.25	簠						U2	
C1	太線	(R3)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(S)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(S1)	IV	3.5	黒						U2	
C1	母線	(S01)	IV	2	薰						U2	
C1	標準	(S01)	IV	1.25	薫						U2	
C1	標準	(S2)	IV	1.25	簠						U2	
C1	太線	(S3)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(T)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(T1)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(T3)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(U)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(V)	IV	3.5	黒						U2	
C1	太線	(W)	IV	3.5	黒						U2	
C1	標準	01	IV	1.25	黄						U2	
C1	標準	02	IV	1.25	黄						U2	
C1	標準	03	IV	1.25	黄						U2	
C1	標準	04	IV	1.25	董						U2	
C1	標準	05	IV	1.25	盆						U2	
01	標準	06	IV	1.25	簠						U2	
C1	標準	07	IV	1.25	茵						U2	
C1	標準	08	IV	1.25	黄						U2	
C1	標準	09	IV	1.25	黄						U2	
C1	標準	10	IV	1.25	黄						U2	
C1	標準	11	IV	1.25	薰						U2	8
						10						

8.メッセージが表示されます。

[OK]をクリックします。

これで、「線番オプション」への値の入力の終了です。



## 6-2. 複合部品の取扱いについて

複合部品の取扱いについて説明します。

■複合部品とは

スイッチ・ランプなど、回路図上では複数のシンボルで表現されますが、実体は1個の部品のことです。

6-2-1. ACAD-Parts

【部品表作成】

同一器具番号のシンボル情報は集約され、1 個の部品として処理されます。部品コード、型式などの情報はど れか 1 個のシンボルにまとめて付加します。

■確認例

右図は本操作確認のために作成した例図です。

(図は一例です。提供ファイルではありません。)



1.ACAD-DENKIを起動します。

[プロジェクト]-[開く]で、目的のフォルダを指定して開きます。 [ACAD-Parts]-[部品情報処理]を実行し該当ファイルから情報を抽出します。 ※部品表の作成は電キャビメニューから、先にフォルダを指定して実行することが出来ます。

2.編集画面になります。

図面内に「哭目釆早 D1」が複数あっても。		
	🎾 部品 リスト・部品表作成	
取得される部品数は 1 つです。	 ファイル(F) 編集(E) ツール(T) ヘルプ(H)	
同じ器具番号を持つシンボルは 1 つの		
部品として抽出されます。	塗No.         装置ユニット         器具番号         部品コード         対応器具シ         型式           1         P1         P1         P1         P1         APN1160           1         図面違択         2         P1         P2         PLR035         APN1160	定格 i▲ AC100/110\ AC100/110\
[次へ(N)]をクリックします。	2編集	
	8,291µ ◀	
	C.¥Users¥Public¥Documents¥Alfatech¥ACAD−D¥sample <前へ(B) 次へ(N)>	<u>閉じる</u> //

3.スタイルテーブルを選択します。

本例では、"PartsTable"を選択します。 [次へ(N)]をクリックします。



😼 部品 リスト・部品表作成

ファイル(F) ヘルプ(H)

4.集約画面が表示されます。

[データ集約(D)]をクリックします。

2日 部品 リスト・					
ファイル(F) 編	集(E) 集約(R) ヘルプ(H)				
🔒   X 🖻 🛱	ª X   ᆇ ☞ ★ ⋬ ⋧ \$				
1図面選択 2編集	器具番号         部品」ード         定格         型式         メーカー         数量           1         P1         PLR035         AC100/110\APN1160         IDEC         1           2         P2         PLR035         AC100/110\APN1160         IDEC         1				
3.スタイル 4.集約	4				
	小計計算(T) データ集約(R) CSV出力(C)				
C:¥Users¥Public¥	Documents¥Alfatech¥ACAD-D¥sample < 前へ(B) 次へ(N) >	開じる //			

5.集約項目ダイアログが表示されます。 本例では"部品コード"で集約します。

[集約]をクリックします。

☆ 部品 リスト・部品表作成			
ファイル(F) 編集(E) 集	<u>)(R) ヘルプ(H)</u> 集約項目	×	
	□ 器具番号をカンマ区切りで個 (例:CR01~CR03)	 別に出力する(N)	
1.区面選択 2 P2	第1集約項目(1) 部品コード	•	
	第2集約項目(2) *なし*	•	
2編集	第3集約項目(3) 🛛 🔭 👘 👘 👘 👘 👘 👘 🤹	•	
	第4集約項目(4) 🛛 🔭 👘 👘 👘 👘 👘 👘 🤹	•	
3,291,1	第5集約項目(5) *なし*	<b>_</b>	
日本	第6集約項目(6) 🛛 🔭 👘 👫 👘 👘 👘 👘 🧰 🧰 🧰 🥵 🧰 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 🧰 🥵 🧰 🥵 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘 👘	•	_
	▼ ソートする(S)		• •
	集約	キャンセル	
C:¥Users¥Public¥Documents¥	Alfatech¥ACAD-D¥sample	く前へ(B) 次/	ヽ(N)> 閉じる //



8.確認のダイアログが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。



9.確認のダイアログが表示されます。[OK]をクリック します。



### 6-2-2. ACAD-Net

ACAD-Net で抽出される情報は個々の端子と配線情報です。部品に関する個数が抽出対象では無いため、 特に問題はありません。

# 6-3. 設定項目のまとめ

ACAD-DENKIなど弊社製品を運用するにあたり、初期に設定(考案)することをお勧めする項目の一覧です。

### 6-3-1. 初期設定項目の一覧

設定項目	内容
共通	
環境の作成先 シンボル庫 ドキュメントの作成先	環境/シンボル庫/ドキュメント(図面)の作成先フォルダを決めます。 運用後の変更も可能です。
参照:本マニュアル「 <u>2-3.場所の</u>	確認と一括変更参照」
ACAD-DENKI	
図枠	図題情報を設定します。図枠を作成します。
参照:本マニュアル「 <u>4-1.図枠</u> 」 :ACAD-DENKI コマンドヘルプ	/トレーニングマニュアル
シンボル システムシンボル	シンボル庫の管理方法について決めます。 提供シンボル使用の有無を決めます。 システムシンボルの形状・属性などを決めます。
参照:本マニュアル「 <u>4-2.シンボル</u> :ACAD-DENKI コマンドヘルプ	レ」「 <u>4-6.端子について</u> 」「 <u>4-8-2.システムシンボル関連の環境設定</u> 」 ′トレーニングマニュアル
線番 電線情報	線番シンボルに必要な情報(電線情報)などを決めます。 線番シンボルを作成します。 線番シンボルを環境設定へ登録します。
参照:本マニュアル「 <u>4-3.線番の</u> :ACAD-DENKI コマンドヘルプ	準備」「4-8-2.システムシンボル関連の環境設定」
渡り線処理	渡り線のルールを設定します。 渡り線の表記方法を設定します。
参照 : 本マニュアル「 <u>4-4 渡り線</u> : ACAD-DENKI コマンドヘルプ	処理実行の準備」「4-8-2 システムシンボル関連の環境設定」
配線グループ情報	特殊配線(ツイスト/シールド/バスライン)にグループ情報を持たせるか決めま す。
参照:本マニュアル「 <u>4-5.配線グ</u> :ACAD-DENKI コマンドヘルプ	ループ情報の準備」
リレー処理	呼び合いルールを決める(型式/汎用など) 展開表データ/シンボルを作成します
参照:本マニュアル「 <u>4-7.リレータ</u> :ACAD-DENKI コマンドヘルプ	<u>型理の準備</u> 」 /トレーニングマニュアル

電キャビ				
接続設定	使用するデータベースの設定を行います。			
参照:データベース接続設定マ	ニュアル			
階層設定				
参照:電キャビトレーニングマニコ	アル【入門編】			
画面構成				
参照:本マニュアル「 <u>5-1-2 フォ」</u> :電キャビトレーニングマニュアル	<u>レダ階層と情報</u> 」 【入門編】			
目次作成 履歴設定	目次を作成するためのテンプレートを作成します。 履歴を作成するためのルール・設定を決めます。			
参照:本マニュアル「 <u>5-2.目次作成</u> 」「 <u>5-3.履歴編集の運用について</u> 」 :電キャビトレーニングマニュアル【応用編】				
ACAD-Parts				
部品マスタ設定	全ての部品情報を登録するデータベースの各項目のタイトルを設定します。			
環境設定	抽出する部品データの項目・スタイルを設定します。			
参照 : 本マニュアル「 <u>3-3.ACAD</u> : ACAD-Parts マニュアル	-Parts]			

管理者向けマニュアル(ACAD-DENKI 2017)

2016年6月第1版発行

発行者 アルファテック株式会社 06-6300-0306(代表) http://www.alfatech.jp/